

# fermionic Matrix Product Stateを用いた Generalized Thouless Pumpの不変量について

基礎物理学研究所 大山修平

共同研究者：塩崎謙 佐藤昌利

based on arxiv:2206.01110

(PRBにaccept済み)

# 目次

- **研究の背景**

SRE状態とGTPについて

- **研究の目的と方法**

MPSを用いたinteracting fermionic systemにおけるGTPの検証

- **結果 1 : Pump不変量の定義**

fundamental theorem for fMPS

Pump不変量の定義

- **結果 2 : Pump不変量の計算**

non-trivial phaseにおけるpump

trivial phaseにおけるpump

- **まとめ**

# ガチャガチャ模型の定義

例) ガチャガチャ模型

# ガチャガチャ模型の定義

例) ガチャガチャ模型

矢印( $\updownarrow$ )を並べて間に丸(白/黒)を置く。 両端は上向きに固定。



# ガチャガチャ模型の定義

例) ガチャガチャ模型

上/下矢印を並べて間に黒/白丸を置く． 両端は上向きに固定．

↑ ↑ ↑ ↑ + ↑ ↓ ↑ ↑ + ↑ ↑ ↓ ↑ + ↑ ↓ ↓ ↑

# ガチャガチャ模型の定義

例) ガチャガチャ模型

上/下矢印を並べて間に黒/白丸を置く。両端は上向きに固定。

↑○↑○↑○↑+↑ ↓ ↑ ↑+↑ ↑ ↓ ↑+↑ ↓ ↓ ↑

# ガチャガチャ模型の定義

例) ガチャガチャ模型

上/下矢印を並べて間に黒/白丸を置く． 両端は上向きに固定．

↑○↑○↑○↑ + ↑●↓●↑○↑ + ↑ ↑ ↓ ↑ + ↑ ↓ ↓ ↑

# ガチャガチャ模型の定義

例) ガチャガチャ模型

上/下矢印を並べて間に黒/白丸を置く． 両端は上向きに固定．

↑○↑○↑○↑ + ↑●↓●↑○↑ + ↑○↑●↓●↑ + ↑ ↓ ↓ ↑

# ガチャガチャ模型の定義

例) ガチャガチャ模型

上/下矢印を並べて間に黒/白丸を置く． 両端は上向きに固定．

↑○↑○↑○↑ + ↑●↓●↑○↑ + ↑○↑●↓●↑ + ↑●↓○↓●↑

# ガチャガチャ模型の定義

例) ガチャガチャ模型

上/下矢印を並べて間に黒/白丸を置く． 両端は上向きに固定．

↑○↑○↑○↑ + ↑●↓●↑○↑ + ↑○↑●↓●↑ + ↑●↓○↓●↑

↓ 矢印を180度回す

# ガチャガチャ模型の定義

例) ガチャガチャ模型

上/下矢印を並べて間に黒/白丸を置く． 両端は上向きに固定．

↑○↑○↑○↑ + ↑●↓●↑○↑ + ↑○↑●↓●↑ + ↑●↓○↓●↑

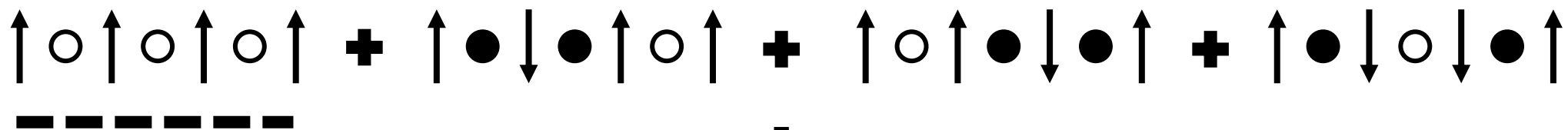
↓ 矢印を180度回す

↑○↓○↓○↑ + ↑●↑●↓○↑ + ↑○↓●↑●↑ + ↑●↑○↑●↑

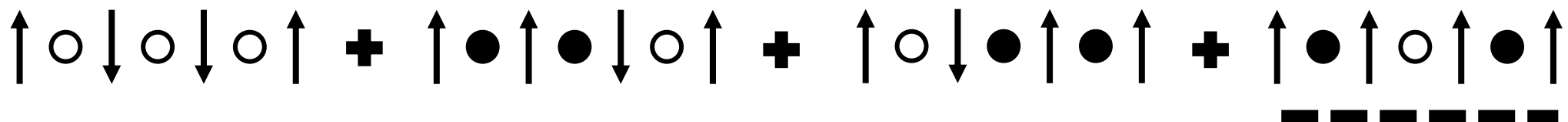
# ガチャガチャ模型の定義

例) ガチャガチャ模型

上/下矢印を並べて間に黒/白丸を置く。両端は上向きに固定。



↓ 矢印を180度回す

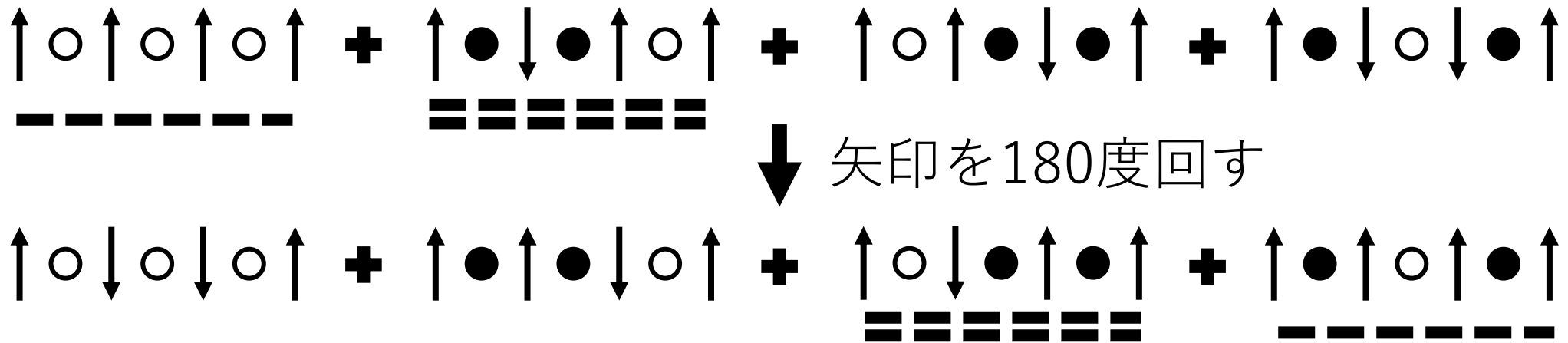




# ガチャガチャ模型の定義

例) ガチャガチャ模型

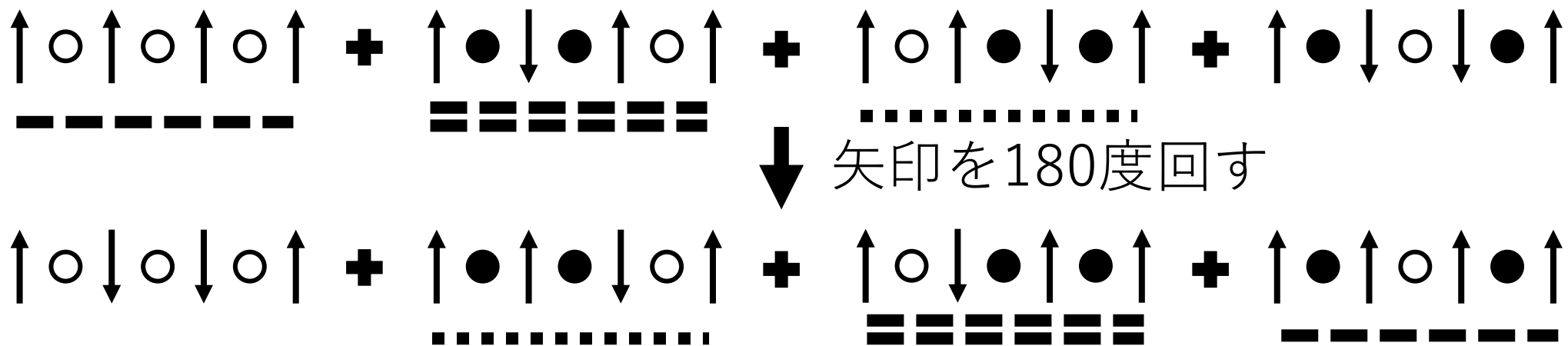
上/下矢印を並べて間に黒/白丸を置く。両端は上向きに固定。



# ガチャガチャ模型の定義

例) ガチャガチャ模型

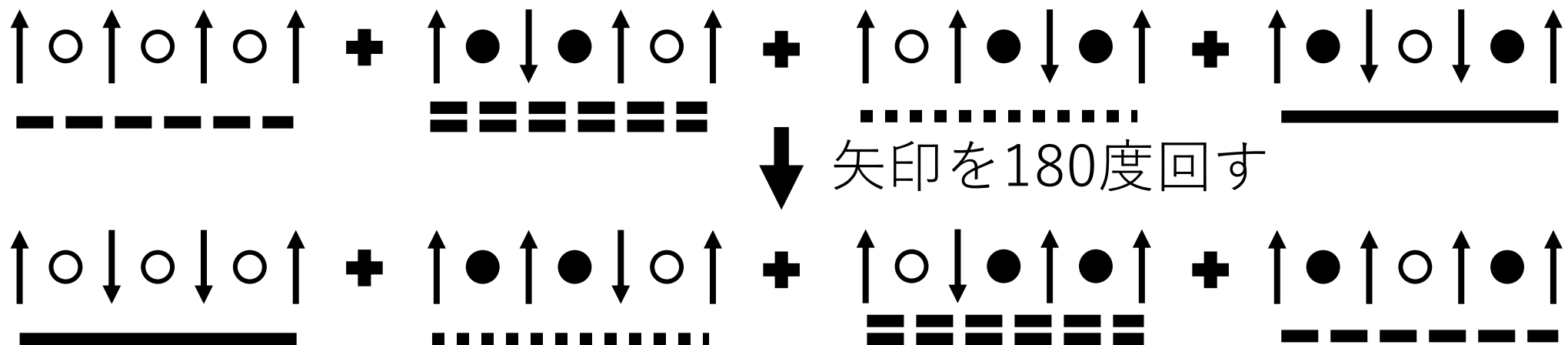
上/下矢印を並べて間に黒/白丸を置く。両端は上向きに固定。



# ガチャガチャ模型の定義

例) ガチャガチャ模型

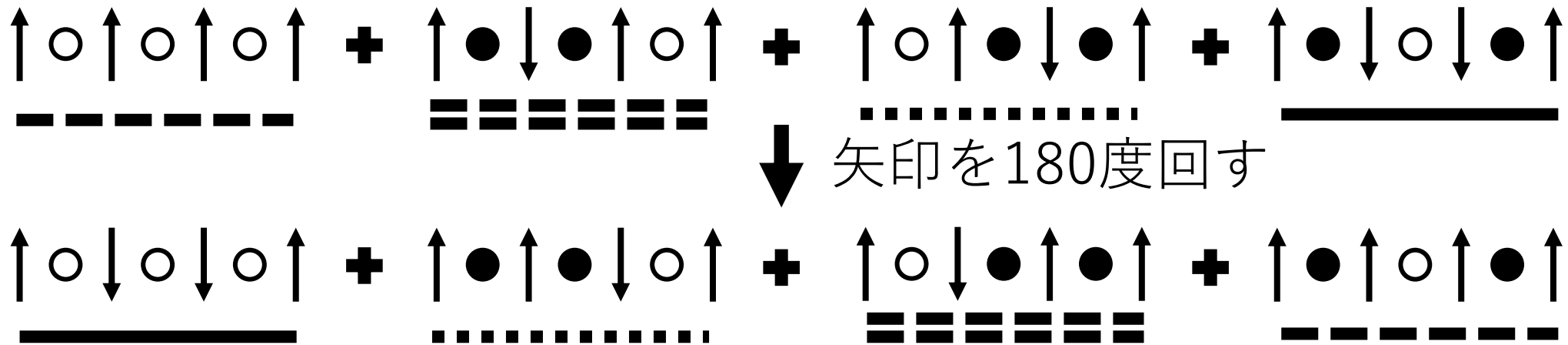
上/下矢印を並べて間に黒/白丸を置く。両端は上向きに固定。



# ガチャガチャ模型の定義

例) ガチャガチャ模型

上/下矢印を並べて間に黒/白丸を置く。両端は上向きに固定。

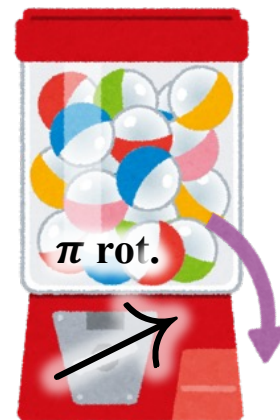
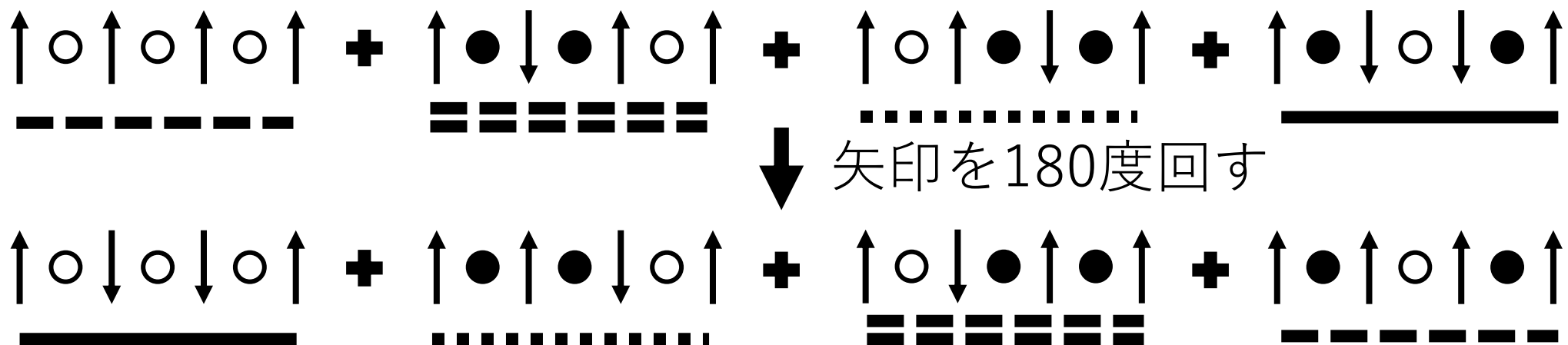


系の片方の端からもう片方の端に  $Z/2$  charge が pump された。

# ガチャガチャ模型の定義

例) ガチャガチャ模型

上/下矢印を並べて間に黒/白丸を置く。両端は上向きに固定。

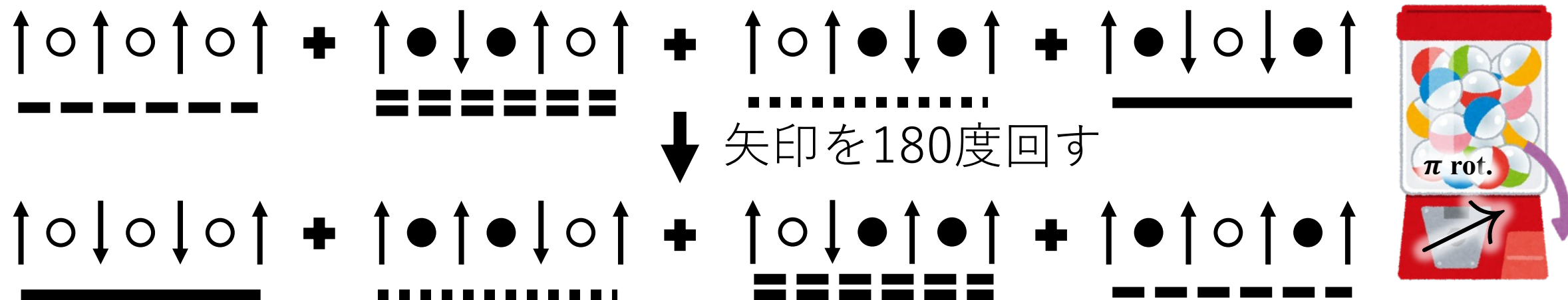


系の片方の端からもう片方の端に  $Z/2$  charge が pump された。

# ガチャガチャ模型の定義

例) ガチャガチャ模型

上/下矢印を並べて間に黒/白丸を置く. 両端は上向きに固定.



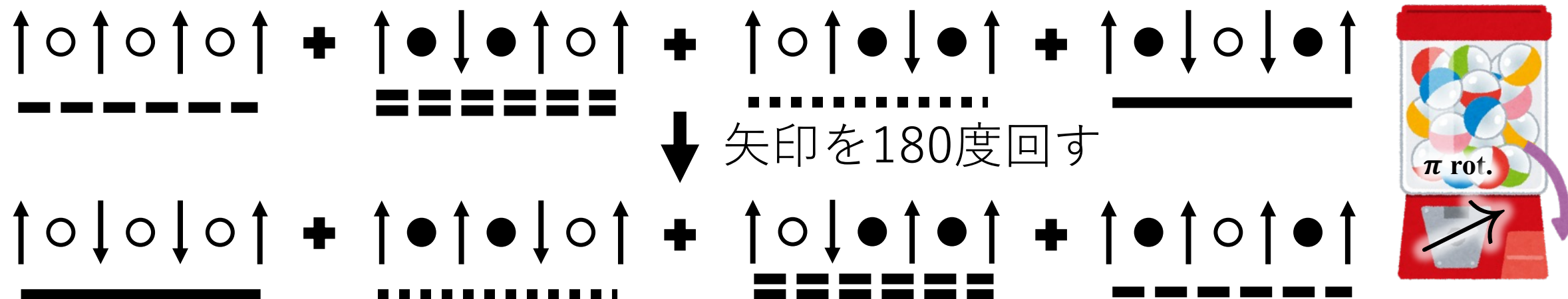
系の片方の端からもう片方の端に  $Z/2$  charge が pump された.

★ 矢印を spin, 丸を cpx. fermion に読み替えると以下の Ham. で実現できる :

# ガチャガチャ模型の定義

例) ガチャガチャ模型

上/下矢印を並べて間に黒/白丸を置く． 両端は上向きに固定．



系の片方の端からもう片方の端に  $Z/2$  charge が pump された．

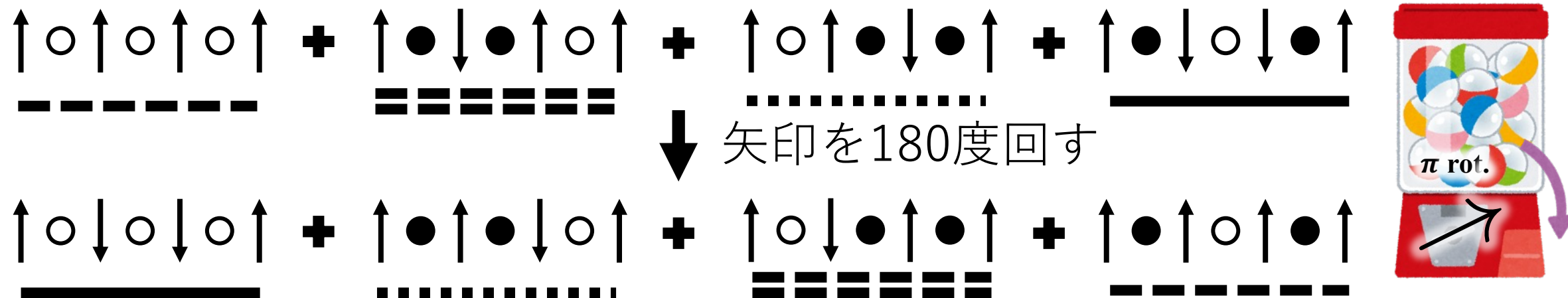
★ 矢印を spin, 丸を cpx. fermion に読み替えると以下の Ham. で実現できる：

$$H(\theta) = - \sum_j (a_j^\dagger - a_j) \tau_{j+\frac{1}{2}}^x (a_{j+1}^\dagger + a_{j+1}) - \sum_j \tau_{j-\frac{1}{2}}^{z, \theta} (1 - 2a_j^\dagger a_j) \tau_{j+\frac{1}{2}}^{z, \theta}$$

# ガチャガチャ模型の定義

例) ガチャガチャ模型

上/下矢印を並べて間に黒/白丸を置く． 両端は上向きに固定．



系の片方の端からもう片方の端に  $Z/2$  charge が pump された．

★ 矢印を spin, 丸を cpx. fermion に読み替えると以下の Ham. で実現できる :

$$H(\theta) = - \sum_j (a_j^\dagger - a_j) \tau_{j+\frac{1}{2}}^x (a_{j+1}^\dagger + a_{j+1}) - \sum_j \tau_{j-\frac{1}{2}}^{z,\theta} (1 - 2a_j^\dagger a_j) \tau_{j+\frac{1}{2}}^{z,\theta}$$

ただし  $\tau_j^{z,\theta} = e^{i\frac{\theta}{2}\tau_j^x} \tau_j^z e^{-i\frac{\theta}{2}\tau_j^x}$  . このとき  $H(0) = H(\pi)$  .



# ガチャガチャ模型の特徴

例) ガチャガチャ模型

$$H(\theta) = - \sum_j (a_j^\dagger - a_j) \tau_{j+\frac{1}{2}}^x (a_{j+1}^\dagger + a_{j+1}) - \sum_j \tau_{j-\frac{1}{2}}^{z, \theta} (1 - 2a_j^\dagger a_j) \tau_{j+\frac{1}{2}}^{z, \theta}$$

# ガチャガチャ模型の特徴

例) ガチャガチャ模型

$$H(\theta) = - \sum_j (a_j^\dagger - a_j) \tau_{j+\frac{1}{2}}^x (a_{j+1}^\dagger + a_{j+1}) - \sum_j \tau_{j-\frac{1}{2}}^{z,\theta} (1 - 2a_j^\dagger a_j) \tau_{j+\frac{1}{2}}^{z,\theta}$$

- 各  $\theta$  に対して uniqueかつ gapped な Hamiltonian である.

このような Ham. の G.S. を **Short-Range Entangled (SRE)** 状態という.

# ガチャガチャ模型の特徴

例) ガチャガチャ模型

$$H(\theta) = - \sum_j (a_j^\dagger - a_j) \tau_{j+\frac{1}{2}}^x (a_{j+1}^\dagger + a_{j+1}) - \sum_j \tau_{j-\frac{1}{2}}^{z,\theta} (1 - 2a_j^\dagger a_j) \tau_{j+\frac{1}{2}}^{z,\theta}$$

- 各  $\theta$  に対して uniqueかつ gapped な Hamiltonian である。  
このような Ham. の G.S. を **Short-Range Entangled (SRE)** 状態という。
- 各  $\theta$  に対して 適当な unitary 変換を行うと,  $\theta = 0$  にできる :

# ガチャガチャ模型の特徴

例) ガチャガチャ模型

$$H(\theta) = - \sum_j (a_j^\dagger - a_j) \tau_{j+\frac{1}{2}}^x (a_{j+1}^\dagger + a_{j+1}) - \sum_j \tau_{j-\frac{1}{2}}^{z,\theta} (1 - 2a_j^\dagger a_j) \tau_{j+\frac{1}{2}}^{z,\theta}$$

- 各  $\theta$  に対して uniqueかつ gapped な Hamiltonian である。  
このような Ham. の G.S. を **Short-Range Entangled (SRE)** 状態という。
- 各  $\theta$  に対して 適当な unitary 変換を行うと,  $\theta = 0$  にできる :

$$H(\theta) = \left( \prod_j e^{i\frac{\theta}{2} \tau_j^x} \right) H(0) \left( \prod_j e^{i\frac{\theta}{2} \tau_j^x} \right)^\dagger$$

# ガチャガチャ模型の特徴

例) ガチャガチャ模型

$$H(\theta) = - \sum_j (a_j^\dagger - a_j) \tau_{j+\frac{1}{2}}^x (a_{j+1}^\dagger + a_{j+1}) - \sum_j \tau_{j-\frac{1}{2}}^{z,\theta} (1 - 2a_j^\dagger a_j) \tau_{j+\frac{1}{2}}^{z,\theta}$$

- 各  $\theta$  に対して uniqueかつ gapped な Hamiltonian である。  
このような Ham. の G.S. を **Short-Range Entangled (SRE)** 状態という。
- 各  $\theta$  に対して 適当な unitary 変換を行うと,  $\theta = 0$  にできる :

$$H(\theta) = \left( \prod_j e^{i\frac{\theta}{2} \tau_j^x} \right) H(0) \left( \prod_j e^{i\frac{\theta}{2} \tau_j^x} \right)^\dagger$$

すなわち各  $\theta$  における Ham. は本質的に同じもの。

# ガチャガチャ模型の特徴

例) ガチャガチャ模型

$$H(\theta) = - \sum_j (a_j^\dagger - a_j) \tau_{j+\frac{1}{2}}^x (a_{j+1}^\dagger + a_{j+1}) - \sum_j \tau_{j-\frac{1}{2}}^{z,\theta} (1 - 2a_j^\dagger a_j) \tau_{j+\frac{1}{2}}^{z,\theta}$$

- 各  $\theta$  に対して uniqueかつ gapped な Hamiltonian である。  
このような Ham. の G.S. を **Short-Range Entangled (SRE)** 状態という。
- 各  $\theta$  に対して 適当な unitary 変換を行うと,  $\theta = 0$  にできる:

$$H(\theta) = \left( \prod_j e^{i\frac{\theta}{2} \tau_j^x} \right) H(0) \left( \prod_j e^{i\frac{\theta}{2} \tau_j^x} \right)^\dagger$$

すなわち各  $\theta$  における Ham. は本質的に同じもの。

つまり pump は unique gapped Ham. の **族としての非自明性** と関係する。

# ガチャガチャ模型の特徴

例) ガチャガチャ模型

$$H(\theta) = - \sum_j (a_j^\dagger - a_j) \tau_{j+\frac{1}{2}}^x (a_{j+1}^\dagger + a_{j+1}) - \sum_j \tau_{j-\frac{1}{2}}^{z,\theta} (1 - 2a_j^\dagger a_j) \tau_{j+\frac{1}{2}}^{z,\theta}$$

- 各  $\theta$  に対して uniqueかつ gapped な Hamiltonian である。  
このような Ham. の G.S. を **Short-Range Entangled (SRE)** 状態という。
- 各  $\theta$  に対して 適当な unitary 変換を行うと,  $\theta = 0$  にできる:

$$H(\theta) = \left( \prod_j e^{i\frac{\theta}{2} \tau_j^x} \right) H(0) \left( \prod_j e^{i\frac{\theta}{2} \tau_j^x} \right)^\dagger$$

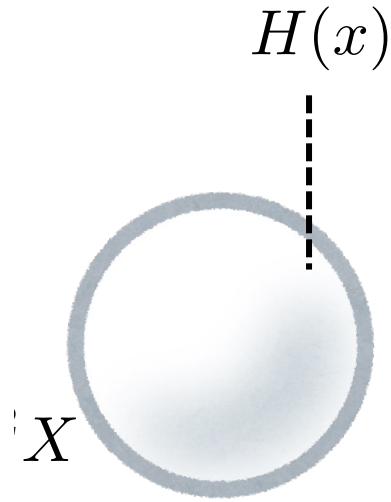
すなわち各  $\theta$  における Ham. は本質的に同じもの。

つまり pump は unique gapped Ham. の **族としての非自明性** と関係する。

(Kitaev の予想から一般的に期待されている。 [Kitaev10])

# 一般的な問い

$d+1$ 次元のSRE状態の族に対して、**族としての非自明さを測る量**は何か？



$X$  : parameter空間

$H(x)$  :  $d+1$ 次元 unique gapped Ham.



# 目次

- **研究の背景**

SRE状態とGTPについて

- **研究の目的と方法**

MPSを用いたinteracting fermionic systemにおけるGTPの検証

- **結果 1 : Pump不変量の定義**

fundamental theorem for fMPS

Pump不変量の定義

- **結果 2 : Pump不変量の計算**

non-trivial phaseにおけるpump

trivial phaseにおけるpump

- **まとめ**

# 研究の目的と方法

$X=S^1$ の場合の先行研究

# 研究の目的と方法

$X=S^1$ の場合の先行研究

	自明相	非自明相
free fermion	fermion parity[Teo-Kane]	fermion parity[Teo-Kane]

# 研究の目的と方法

※自明相：product stateと連続的に繋がる  
非自明相：自明相以外

$X=S^1$ の場合の先行研究

	自明相	非自明相
free fermion	fermion parity[Teo-Kane]	fermion parity[Teo-Kane]

# 研究の目的と方法

※自明相：product stateと連続的に繋がる  
非自明相：自明相以外

$X=S^1$ の場合の先行研究

	自明相	非自明相
free fermion	fermion parity[Teo-Kane]	fermion parity[Teo-Kane]
interacting fermion	未検証	未検証

# 研究の目的と方法

※自明相：product stateと連続的に繋がる  
非自明相：自明相以外

$X=S^1$ の場合の先行研究

	自明相	非自明相
free fermion	fermion parity[Teo-Kane]	fermion parity[Teo-Kane]
interacting fermion	未検証	未検証

目的

# 研究の目的と方法

※自明相：product stateと連続的に繋がる  
非自明相：自明相以外

$X=S^1$ の場合の先行研究

	自明相	非自明相
free fermion	fermion parity[Teo-Kane]	fermion parity[Teo-Kane]
interacting fermion	未検証	未検証

目的

※一般には難しいので次元を1+1次元に限定する

# 研究の目的と方法

※自明相：product stateと連続的に繋がる  
非自明相：自明相以外

$X=S^1$ の場合の先行研究

	自明相	非自明相
free fermion	fermion parity[Teo-Kane]	fermion parity[Teo-Kane]
interacting fermion	未検証	未検証

目的

※一般には難しいので次元を1+1次元に限定する

目的：

1+1次元interacting fermion系において自明相/非自明相のS1族を分類。



# 研究の目的と方法

※自明相：product stateと連続的に繋がる  
非自明相：自明相以外

$X=S^1$ の場合の先行研究

	自明相	非自明相
free fermion	fermion parity[Teo-Kane]	fermion parity[Teo-Kane]
interacting fermion	未検証	未検証

目的

※一般には難しいので次元を1+1次元に限定する

目的：

1+1次元interacting fermion系において**自明相/非自明相のS1族を分類。**  
= **SRE状態の $S^1$  family**に対して**不変量を構成したい。**

# 研究の目的と方法

※自明相：product stateと連続的に繋がる  
非自明相：自明相以外

$X=S^1$ の場合の先行研究

	自明相	非自明相
free fermion	fermion parity[Teo-Kane]	fermion parity[Teo-Kane]
interacting fermion	未検証	未検証

目的

※一般には難しいので次元を1+1次元に限定する

目的：

1+1次元interacting fermion系において**自明相/非自明相のS1族を分類**.  
= SRE状態の $S^1$  familyに対して不変量を構成したい.

方法：

Z/2-graded central simpleな**fermionic Matrix Product Stateの利用**.

# 研究の目的と方法

※自明相：product stateと連続的に繋がる  
非自明相：自明相以外

$X=S^1$ の場合の先行研究

	自明相	非自明相
free fermion	fermion parity[Teo-Kane]	fermion parity[Teo-Kane]
interacting fermion	未検証	未検証

目的

※一般には難しいので次元を1+1次元に限定する

目的：

1+1次元interacting fermion系において**自明相/非自明相のS1族を分類**。  
= SRE状態の $S^1$  familyに対して不変量を構成したい。

方法：

Z/2-graded central simpleな**fermionic Matrix Product State**の利用。

# 研究の目的と方法

※自明相：product stateと連続的に繋がる  
非自明相：自明相以外

$X=S^1$ の場合の先行研究

	自明相	非自明相
free fermion	fermion parity[Teo-Kane]	fermion parity[Teo-Kane]
interacting fermion	未検証	未検証

目的

※一般には難しいので次元を1+1次元に限定する

目的：

1+1次元interacting fermion系において**自明相/非自明相のS1族を分類**。  
= SRE状態の $S^1$  familyに対して不変量を構成したい。

方法：**次のスライドで説明**

Z/2-graded central simpleな**fermionic Matrix Product State**の利用。

# 研究の目的と方法

※自明相：product stateと連続的に繋がる  
非自明相：自明相以外

$X=S^1$ の場合の先行研究

	自明相	非自明相
free fermion	fermion parity[Teo-Kane]	fermion parity[Teo-Kane]
interacting fermion	未検証	未検証

目的

※一般には難しいので次元を1+1次元に限定する

目的：

1+1次元interacting fermion系において**自明相/非自明相のS1族を分類**。  
= SRE状態の $S^1$  familyに対して不変量を構成したい。

方法：**次のスライドで説明**

Z/2-graded central simpleな fermionic Matrix Product Stateの利用。

# 研究の目的と方法

※自明相：product stateと連続的に繋がる  
非自明相：自明相以外

$X=S^1$ の場合の先行研究

	自明相	非自明相
free fermion	fermion parity[Teo-Kane]	fermion parity[Teo-Kane]
interacting fermion	未検証	未検証

目的

※一般には難しいので次元を1+1次元に限定する

目的：

1+1次元interacting fermion系において**自明相/非自明相のS1族を分類**。  
= SRE状態の $S^1$  familyに対して不変量を構成したい。

方法：**次のスライドで説明**

**次の次のスライドで説明**

Z/2-graded central simpleな fermionic Matrix Product Stateの利用。

# 目次

- **研究の背景**

SRE状態とGTPについて

- **研究の目的と方法**

MPSを用いたinteracting fermionic systemにおけるGTPの検証

- **結果 1 : Pump不変量の定義**

fundamental theorem for fMPS

Pump不変量の定義

- **結果 2 : Pump不変量の計算**

non-trivial phaseにおけるpump

trivial phaseにおけるpump

- **まとめ**

# $\mathbb{Z}/2$ -graded Central Simple Algebra(CSA)

$\mathbb{Z}/2$ -gr. CSAは抽象的に定義されるが今回のトークでは使わないので割愛



# Z/2-graded Central Simple Algebra(CSA)

Z/2-gr. CSAは抽象的に定義されるが今回のトークでは使わないので割愛

## 大事な点

①

②

# $\mathbb{Z}/2$ -graded Central Simple Algebra(CSA)

$\mathbb{Z}/2$ -gr. CSAは抽象的に定義されるが今回のトークでは使わないので割愛

## 大事な点

①  $\mathbb{Z}/2$ -gr. CSA  $\mathcal{A}$  は以下の 2 パターンのどちらかに同型(Wallの定理) :

②

# Z/2-graded Central Simple Algebra(CSA)

Z/2-gr. CSAは抽象的に定義されるが今回のトークでは使わないので割愛

## 大事な点

① Z/2-gr. CSA  $\mathcal{A}$  は以下の 2 パターンのどちらかに同型(Wallの定理)：  
(+)-type :

②

# Z/2-graded Central Simple Algebra(CSA)

Z/2-gr. CSAは抽象的に定義されるが今回のトークでは使わないので割愛

## 大事な点

① Z/2-gr. CSA  $\mathcal{A}$  は以下の 2 パターンのどちらかに同型(Wallの定理)：  
(+)-type :  $\mathcal{A} \simeq \text{Mat}_{2n}(\mathbb{C})$

②

# Z/2-graded Central Simple Algebra(CSA)

Z/2-gr. CSAは抽象的に定義されるが今回のトークでは使わないので割愛

## 大事な点

① Z/2-gr. CSA  $A$  は以下の2パターンのどちらかに同型(Wallの定理) :

(+)-type :  $A \simeq \text{Mat}_{2n}(\mathbb{C})$

(-)-type :

②

# Z/2-graded Central Simple Algebra(CSA)

Z/2-gr. CSAは抽象的に定義されるが今回のトークでは使わないので割愛

## 大事な点

① Z/2-gr. CSA  $\mathcal{A}$  は以下の2パターンのどちらかに同型(Wallの定理) :

$$(+) \text{-type} : \mathcal{A} \simeq \text{Mat}_{2n}(\mathbb{C})$$

$$(-) \text{-type} : \mathcal{A} \simeq \text{Mat}_n(\mathbb{C}) \oplus \text{Mat}_n(\mathbb{C})$$

②

# Z/2-graded Central Simple Algebra(CSA)

Z/2-gr. CSAは抽象的に定義されるが今回のトークでは使わないので割愛

## 大事な点

① Z/2-gr. CSA  $\mathcal{A}$  は以下の2パターンのどちらかに同型(Wallの定理) :

$$(+) \text{-type} : \mathcal{A} \simeq \text{Mat}_{2n}(\mathbb{C})$$

$$(-) \text{-type} : \mathcal{A} \simeq \text{Mat}_n(\mathbb{C}) \oplus \text{Mat}_n(\mathbb{C})$$

② Z/2-gr. CSAには  $u^2 \propto 1$  を満たす元  $u$  が存在する.

# Z/2-graded Central Simple Algebra(CSA)

Z/2-gr. CSAは抽象的に定義されるが今回のトークでは使わないので割愛

## 大事な点

① Z/2-gr. CSA  $\mathcal{A}$  は以下の2パターンのどちらかに同型(Wallの定理) :

$$(+) \text{-type} : \mathcal{A} \simeq \text{Mat}_{2n}(\mathbb{C})$$

$$(-) \text{-type} : \mathcal{A} \simeq \text{Mat}_n(\mathbb{C}) \oplus \text{Mat}_n(\mathbb{C})$$

② Z/2-gr. CSAには  $u^2 \propto 1$  を満たす元  $u$  が存在する.

上の行列表示において  $u$  は以下の行列で与えられる :



# Z/2-graded Central Simple Algebra(CSA)

Z/2-gr. CSAは抽象的に定義されるが今回のトークでは使わないので割愛

## 大事な点

① Z/2-gr. CSA  $\mathcal{A}$  は以下の2パターンのどちらかに同型(Wallの定理) :

$$(+) \text{-type} : \mathcal{A} \simeq \text{Mat}_{2n}(\mathbb{C})$$

$$(-) \text{-type} : \mathcal{A} \simeq \text{Mat}_n(\mathbb{C}) \oplus \text{Mat}_n(\mathbb{C})$$

② Z/2-gr. CSAには  $u^2 \propto 1$  を満たす元  $u$  が存在する.

上の行列表示において  $u$  は以下の行列で与えられる :

$$(+) \text{-type} : u \propto \begin{pmatrix} 1_n & \\ & -1_n \end{pmatrix}$$

# Z/2-graded Central Simple Algebra(CSA)

Z/2-gr. CSAは抽象的に定義されるが今回のトークでは使わないので割愛

## 大事な点

① Z/2-gr. CSA  $\mathcal{A}$  は以下の2パターンのどちらかに同型(Wallの定理) :

$$(+) \text{-type} : \mathcal{A} \simeq \text{Mat}_{2n}(\mathbb{C})$$

$$(-) \text{-type} : \mathcal{A} \simeq \text{Mat}_n(\mathbb{C}) \oplus \text{Mat}_n(\mathbb{C})$$

② Z/2-gr. CSAには  $u^2 \propto 1$  を満たす元  $u$  が存在する.

上の行列表示において  $u$  は以下の行列で与えられる :

$$(+) \text{-type} : u \propto \begin{pmatrix} 1_n & \\ & -1_n \end{pmatrix} \quad (-) \text{-type} : u \propto \begin{pmatrix} & -1_n \\ 1_n & \end{pmatrix}$$

# Z/2-graded Central Simple Algebra(CSA)

Z/2-gr. CSAは抽象的に定義されるが今回のトークでは使わないので割愛

## 大事な点

① Z/2-gr. CSA  $\mathcal{A}$  は以下の2パターンのどちらかに同型(Wallの定理) :

$$(+) \text{-type} : \mathcal{A} \simeq \text{Mat}_{2n}(\mathbb{C})$$

$$(-) \text{-type} : \mathcal{A} \simeq \text{Mat}_n(\mathbb{C}) \oplus \text{Mat}_n(\mathbb{C})$$

② Z/2-gr. CSAには  $u^2 \propto 1$  を満たす元  $u$  が存在する.

上の行列表示において  $u$  は以下の行列で与えられる :

$$(+) \text{-type} : u \propto \begin{pmatrix} 1_n & \\ & -1_n \end{pmatrix} \quad (-) \text{-type} : u \propto \begin{pmatrix} & -1_n \\ 1_n & \end{pmatrix}$$

# fermionic Matrix Product State (fMPS)

$Z/2$ -gr. central simple matrices :  $\{A^i\} : 2n \times 2n$  行列の組

# fermionic Matrix Product State (fMPS)

$Z/2$ -gr. central simple matrices :  $\{A^i\} : 2n \times 2n$  行列の組

*s.t.*  $\mathcal{A} = \text{Span}(\{A^i\})$  が  $Z/2$ -gr. CSA

# fermionic Matrix Product State (fMPS)

$Z/2$ -gr. central simple matrices :  $\{A^i\} : 2n \times 2n$  行列の組

*s.t.*  $\mathcal{A} = \text{Span}(\{A^i\})$  が  $Z/2$ -gr. CSA with some technical conditions.

# fermionic Matrix Product State (fMPS)

$Z/2$ -gr. central simple matrices :  $\{A^i\} : 2n \times 2n$  行列の組

*s.t.*  $\mathcal{A} = \text{Span}(\{A^i\})$  が  $Z/2$ -gr. CSA with some technical conditions.

このとき次で状態を定める :  $|\{A^i, u\}\rangle = \sum \text{tr}(uA^{i_1} \cdots A^{i_L}) |i_1, \dots, i_L\rangle$

# fermionic Matrix Product State (fMPS)

$Z/2$ -gr. central simple matrices :  $\{A^i\} : 2n \times 2n$  行列の組

*s.t.*  $\mathcal{A} = \text{Span}(\{A^i\})$  が  $Z/2$ -gr. CSA with some technical conditions.

このとき次で状態を定める :  $|\{A^i, u\}\rangle = \sum \text{tr}(u A^{i_1} \cdots A^{i_L}) |i_1, \dots, i_L\rangle$

すると  $|\{A^i, u\}\rangle$  は fermionic SRE 状態を与える [Bultinck, et.al.,]



# fermionic Matrix Product State (fMPS)

Z/2-gr. central simple matrices :  $\{A^i\} : 2n \times 2n$  行列の組

*s.t.*  $\mathcal{A} = \text{Span}(\{A^i\})$  が Z/2-gr. CSA with some technical conditions.

このとき次で状態を定める :  $|\{A^i, u\}\rangle = \sum \text{tr}(u A^{i_1} \cdots A^{i_L}) |i_1, \dots, i_L\rangle$

すると  $|\{A^i, u\}\rangle$  は fermionic SRE 状態を与える [Bultinck, et.al.,]

$|\{A^i, u\}\rangle$  : fermionic SRE state  $\Leftrightarrow \{A^i\} : \text{Z/2-gr. CSA}$

# fermionic Matrix Product State (fMPS)

Z/2-gr. central simple matrices :  $\{A^i\} : 2n \times 2n$  行列の組

*s.t.*  $\mathcal{A} = \text{Span}(\{A^i\})$  が Z/2-gr. CSA with some technical conditions.

このとき次で状態を定める :  $|\{A^i, u\}\rangle = \sum \text{tr}(u A^{i_1} \cdots A^{i_L}) |i_1, \dots, i_L\rangle$

すると  $|\{A^i, u\}\rangle$  は fermionic SRE 状態を与える [Bultinck, et.al.,]

$|\{A^i, u\}\rangle$  : fermionic SRE state  $\Leftrightarrow \{A^i\} : \text{Z/2-gr. CSA}$

例) periodic Kitaev chain :  $H = \sum -a_{j+1}^\dagger a_{j+1} - a_{j+1}^\dagger a_j + a_j^\dagger a_{j+1}^\dagger + a_{j+1} a_j$

# fermionic Matrix Product State (fMPS)

Z/2-gr. central simple matrices :  $\{A^i\} : 2n \times 2n$  行列の組

*s.t.*  $\mathcal{A} = \text{Span}(\{A^i\})$  が Z/2-gr. CSA with some technical conditions.

このとき次で状態を定める :  $|\{A^i, u\}\rangle = \sum \text{tr}(u A^{i_1} \cdots A^{i_L}) |i_1, \dots, i_L\rangle$

すると  $|\{A^i, u\}\rangle$  は fermionic SRE 状態を与える [Bultinck, et.al.,]

$|\{A^i, u\}\rangle$  : fermionic SRE state  $\Leftrightarrow \{A^i\} : \text{Z/2-gr. CSA}$

例) periodic Kitaev chain :  $H = \sum -a_{j+1}^\dagger a_{j+1} - a_{j+1}^\dagger a_j + a_j^\dagger a_{j+1}^\dagger + a_{j+1} a_j$

このとき行列の組として  $A^0 = \begin{pmatrix} 1 & \\ & 1 \end{pmatrix}$   $A^1 = \begin{pmatrix} & -1 \\ 1 & \end{pmatrix}$   $u = \begin{pmatrix} & -1 \\ 1 & \end{pmatrix}$

とすると  $|\{A^i, u\}\rangle$  は基底状態を与える。

# fermionic Matrix Product State (fMPS)

Z/2-gr. central simple matrices :  $\{A^i\}$  :  $2n \times 2n$  行列の組

*s.t.*  $\mathcal{A} = \text{Span}(\{A^i\})$  が Z/2-gr. CSA with some technical conditions.

このとき次で状態を定める :  $|\{A^i, u\}\rangle = \sum \text{tr}(u A^{i_1} \cdots A^{i_L}) |i_1, \dots, i_L\rangle$

すると  $|\{A^i, u\}\rangle$  は fermionic SRE 状態を与える [Bultinck, et.al.,]

$|\{A^i, u\}\rangle$  : fermionic SRE state  $\Leftrightarrow \{A^i\}$  : Z/2-gr. CSA

例) periodic Kitaev chain :  $H = \sum -a_{j+1}^\dagger a_{j+1} - a_{j+1}^\dagger a_j + a_j^\dagger a_{j+1}^\dagger + a_{j+1} a_j$

このとき行列の組として  $A^0 = \begin{pmatrix} 1 & \\ & 1 \end{pmatrix}$   $A^1 = \begin{pmatrix} & -1 \\ 1 & \end{pmatrix}$   $u = \begin{pmatrix} & -1 \\ 1 & \end{pmatrix}$

とすると  $|\{A^i, u\}\rangle$  は基底状態を与える.

$\{A^i\}$  の生成する代数  $\mathcal{A}$  は  $\mathcal{A} \simeq \mathbb{C} \oplus \mathbb{C}$

# fermionic Matrix Product State (fMPS)

Z/2-gr. central simple matrices :  $\{A^i\} : 2n \times 2n$  行列の組

*s.t.*  $\mathcal{A} = \text{Span}(\{A^i\})$  が Z/2-gr. CSA with some technical conditions.

このとき次で状態を定める :  $|\{A^i, u\}\rangle = \sum \text{tr}(u A^{i_1} \cdots A^{i_L}) |i_1, \dots, i_L\rangle$

すると  $|\{A^i, u\}\rangle$  は fermionic SRE 状態を与える [Bultinck, et.al.,]

$|\{A^i, u\}\rangle$  : fermionic SRE state  $\Leftrightarrow \{A^i\} : \text{Z/2-gr. CSA}$

例) periodic Kitaev chain :  $H = \sum -a_{j+1}^\dagger a_{j+1} - a_{j+1}^\dagger a_j + a_j^\dagger a_{j+1}^\dagger + a_{j+1} a_j$

このとき行列の組として  $A^0 = \begin{pmatrix} 1 & \\ & 1 \end{pmatrix}$   $A^1 = \begin{pmatrix} & -1 \\ 1 & \end{pmatrix}$   $u = \begin{pmatrix} & -1 \\ 1 & \end{pmatrix}$

とすると  $|\{A^i, u\}\rangle$  は基底状態を与える.

$\{A^i\}$  の生成する代数  $\mathcal{A}$  は  $\mathcal{A} \simeq \mathbb{C} \oplus \mathbb{C}$  より Z/2-gr. CSA で  $\text{type}(-)$ . 76/92

# 目次

- **研究の背景**

SRE状態とGTPについて

- **研究の目的と方法**

MPSを用いたinteracting fermionic systemにおけるGTPの検証

- **結果 1 : Pump不変量の定義**

fundamental theorem for fMPS

Pump不変量の定義

- **結果 2 : Pump不変量の計算**

non-trivial phaseにおけるpump

trivial phaseにおけるpump

- **まとめ**

# 不変量の構成のアイデア

$\{A^i(\theta), u(\theta)\}_{\theta \in [0, 2\pi]}$  に対して不変量を構成したい。

# 不変量の構成のアイデア

$\{A^i(\theta), u(\theta)\}_{\theta \in [0, 2\pi]}$  に対して不変量を構成したい。

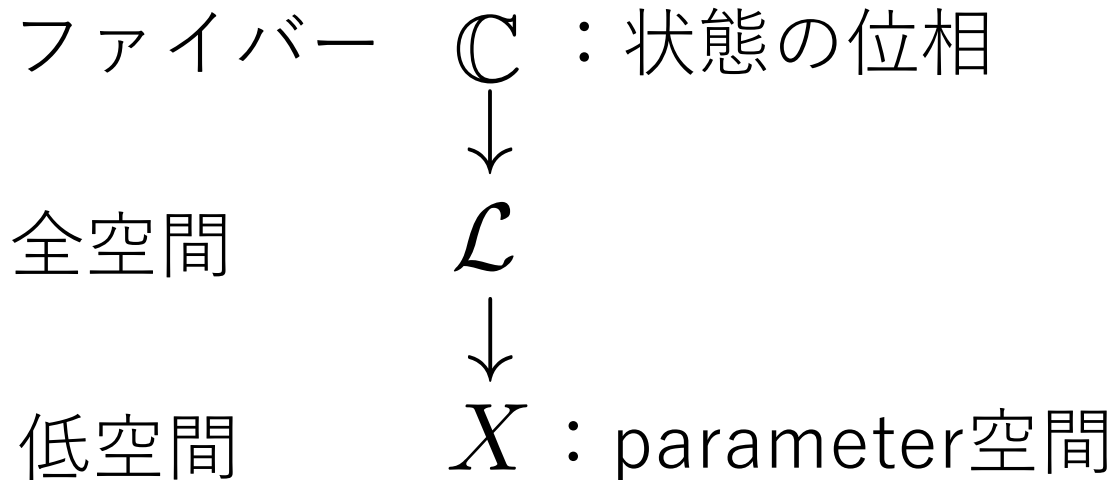
0+1次元系におけるBerry位相：



# 不変量の構成のアイデア

$\{A^i(\theta), u(\theta)\}_{\theta \in [0, 2\pi]}$  に対して不変量を構成したい。

0+1次元系におけるBerry位相：



# 不変量の構成のアイデア

$\{A^i(\theta), u(\theta)\}_{\theta \in [0, 2\pi]}$  に対して不変量を構成したい。

0+1次元系におけるBerry位相：

ファイバー  $\mathbb{C}$  : 状態の位相  
↓  
全空間  $\mathcal{L}$   
↓  
低空間  $X$  : parameter空間

Berry接続/曲率 =  $\mathcal{L}$  のtopology

# 不変量の構成のアイデア

$\{A^i(\theta), u(\theta)\}_{\theta \in [0, 2\pi]}$  に対して不変量を構成したい。

0+1次元系におけるBerry位相：

ファイバー  $\mathbb{C}$  : 状態の位相  
↓  
全空間  $\mathcal{L}$   
↓  
低空間  $X$  : parameter空間  
Berry接続/曲率 =  $\mathcal{L}$  のtopology

1+1次元系におけるPump不変量：

# 不変量の構成のアイデア

$\{A^i(\theta), u(\theta)\}_{\theta \in [0, 2\pi]}$  に対して不変量を構成したい.

0+1次元系におけるBerry位相：

ファイバー	$\mathbb{C}$ : 状態の位相
	$\downarrow$
全空間	$\mathcal{L}$
	$\downarrow$
低空間	$X$ : parameter空間

Berry接続/曲率 =  $\mathcal{L}$  のtopology

1+1次元系におけるPump不変量：

ファイバー	$A$ : $\mathbb{Z}/2$ -gr. CSA
	$\downarrow$
全空間	$\mathcal{A}$
	$\downarrow$
低空間	$X$ : parameter空間

# 不変量の構成のアイデア

$\{A^i(\theta), u(\theta)\}_{\theta \in [0, 2\pi]}$  に対して不変量を構成したい.

0+1次元系におけるBerry位相：

ファイバー	$\mathbb{C}$ : 状態の位相
	↓
全空間	$\mathcal{L}$
	↓
低空間	$X$ : parameter空間

Berry接続/曲率 =  $\mathcal{L}$  のtopology

1+1次元系におけるPump不変量：

ファイバー	$\mathcal{A}$ : $\mathbb{Z}/2$ -gr. CSA
	↓
全空間	$\mathcal{A}$
	↓
低空間	$X$ : parameter空間

Pump不変量 =  $\mathcal{A}$  のtopology

# 不変量の構成のアイデア

$\{A^i(\theta), u(\theta)\}_{\theta \in [0, 2\pi]}$  に対して不変量を構成したい。

0+1次元系におけるBerry位相：

ファイバー	$\mathbb{C}$ : 状態の位相
	↓
全空間	$\mathcal{L}$
	↓
低空間	$X$ : parameter空間

Berry接続/曲率 =  $\mathcal{L}$  のtopology

1+1次元系におけるPump不変量：

ファイバー	$\mathcal{A}$ : $\mathbb{Z}/2$ -gr. CSA
	↓
全空間	$\mathcal{A}$
	↓
低空間	$X$ : parameter空間

Pump不変量 =  $\mathcal{A}$  のtopology

$\mathcal{A}$  の変換関数は何か？

# 不変量の構成のアイデア

$\{A^i(\theta), u(\theta)\}_{\theta \in [0, 2\pi]}$  に対して不変量を構成したい。

0+1次元系におけるBerry位相：

ファイバー	$\mathbb{C}$ : 状態の位相
	$\downarrow$
全空間	$\mathcal{L}$
	$\downarrow$
低空間	$X$ : parameter空間

Berry接続/曲率 =  $\mathcal{L}$  のtopology

1+1次元系におけるPump不変量：

ファイバー	$\mathcal{A}$ : $\mathbb{Z}/2$ -gr. CSA
	$\downarrow$
全空間	$\mathcal{A}$
	$\downarrow$
低空間	$X$ : parameter空間

Pump不変量 =  $\mathcal{A}$  のtopology

$\mathcal{A}$  の変換関数は何か？  $\Leftrightarrow |\{A^i, u\}\rangle \propto |\{A'^i, u'\}\rangle$  の時  $\{A^i\}$  と  $\{A'^i\}$  の関係は？

# 不変量の構成のアイデア

$\{A^i(\theta), u(\theta)\}_{\theta \in [0, 2\pi]}$  に対して不変量を構成したい。

0+1次元系におけるBerry位相：

ファイバー	$\mathbb{C}$ : 状態の位相
	$\downarrow$
全空間	$\mathcal{L}$
	$\downarrow$
低空間	$X$ : parameter空間

Berry接続/曲率 =  $\mathcal{L}$  のtopology

1+1次元系におけるPump不変量：

ファイバー	$\mathcal{A}$ : $\mathbb{Z}/2$ -gr. CSA
	$\downarrow$
全空間	$\mathcal{A}$
	$\downarrow$
低空間	$X$ : parameter空間

Pump不変量 =  $\mathcal{A}$  のtopology

$\mathcal{A}$  の変換関数は何か？  $\Leftrightarrow |\{A^i, u\}\rangle \propto |\{A'^i, u'\}\rangle$  の時  $\{A^i\}$  と  $\{A'^i\}$  の関係は？

$\Rightarrow$  fermionic MPSのfundamental theoremを証明する必要がある。



# fundamental thm. for $\mathbb{Z}/2$ -gr. CS MPS

**Theorem 3.** (fundamental theorem for fMPS with Wall invariant (+))

Let  $\{A^i\}_i$  and  $\{\tilde{A}^i\}_i$  be injective fMPSs with the Wall invariant (+) in the canonical form (111). They give the same physical state in APBC, in other words,  $\{A^i\}_i \sim \{\tilde{A}^i\}_i$  holds if and only if there exist a unitary matrix  $V \in U(2n)$  and a  $U(1)$  phase  $e^{i\beta} \in U(1)$  obeying that

$$\tilde{A}^i = e^{i\beta} V^\dagger A^i V. \quad (112)$$

The unitary matrix  $V$  is unique up to  $U(1)$  phase, and  $e^{i\beta}$  is unique.

# fundamental thm. for $\mathbb{Z}/2$ -gr. CS MPS

**Theorem 3.** (fundamental theorem for fMPS with Wall invariant (+))

Let  $\{A^i\}_i$  and  $\{\tilde{A}^i\}_i$  be injective fMPSs with the Wall invariant (+) in the canonical form (111). They give the same physical state in APBC, in other words,  $\{A^i\}_i \sim \{\tilde{A}^i\}_i$  holds if and only if there exist a unitary matrix  $V \in U(2n)$  and a  $U(1)$  phase  $e^{i\beta} \in U(1)$  obeying that

$$\tilde{A}^i = e^{i\beta} V^\dagger A^i V. \quad (112)$$

The unitary matrix  $V$  is unique up to  $U(1)$  phase, and  $e^{i\beta}$  is unique.

変換関数が $\mathbb{Z}/2$ -gradingを保つunitary変換のみであることを証明した。

# fundamental thm. for $\mathbb{Z}/2$ -gr. CS MPS

**Theorem 3.** (fundamental theorem for fMPS with Wall invariant (+))

Let  $\{A^i\}_i$  and  $\{\tilde{A}^i\}_i$  be injective fMPSs with the Wall invariant (+) in the canonical form (111). They give the same physical state in APBC, in other words,  $\{A^i\}_i \sim \{\tilde{A}^i\}_i$  holds if and only if there exist a unitary matrix  $V \in U(2n)$  and a  $U(1)$  phase  $e^{i\beta} \in U(1)$  obeying that

$$\tilde{A}^i = e^{i\beta} V^\dagger A^i V. \quad (112)$$

The unitary matrix  $V$  is unique up to  $U(1)$  phase, and  $e^{i\beta}$  is unique.

変換関数が $\mathbb{Z}/2$ -gradingを保つunitary変換のみであることを証明した。  
不変量の具体的な計算法(解析的な方法)：

# fundamental thm. for $Z/2$ -gr. CS MPS

**Theorem 3.** (fundamental theorem for fMPS with Wall invariant (+))

Let  $\{A^i\}_i$  and  $\{\tilde{A}^i\}_i$  be injective fMPSs with the Wall invariant (+) in the canonical form (111). They give the same physical state in APBC, in other words,  $\{A^i\}_i \sim \{\tilde{A}^i\}_i$  holds if and only if there exist a unitary matrix  $V \in U(2n)$  and a  $U(1)$  phase  $e^{i\beta} \in U(1)$  obeying that

$$\tilde{A}^i = e^{i\beta} V^\dagger A^i V. \quad (112)$$

The unitary matrix  $V$  is unique up to  $U(1)$  phase, and  $e^{i\beta}$  is unique.

変換関数が $Z/2$ -gradingを保つunitary変換のみであることを証明した。  
不変量の具体的な計算法(解析的な方法)：

①ゲージ変換で $\{A^i(\theta), u(\theta)\}$ を周期的にとる： $\{\tilde{A}^i(0), \tilde{u}(0)\} = \{\tilde{A}^i(2\pi), \tilde{u}(2\pi)\}$ ,

# fundamental thm. for $\mathbb{Z}/2$ -gr. CS MPS

**Theorem 3.** (fundamental theorem for fMPS with Wall invariant (+))

Let  $\{A^i\}_i$  and  $\{\tilde{A}^i\}_i$  be injective fMPSs with the Wall invariant (+) in the canonical form (111). They give the same physical state in APBC, in other words,  $\{A^i\}_i \sim \{\tilde{A}^i\}_i$  holds if and only if there exist a unitary matrix  $V \in U(2n)$  and a  $U(1)$  phase  $e^{i\beta} \in U(1)$  obeying that

$$\tilde{A}^i = e^{i\beta} V^\dagger A^i V. \quad (112)$$

The unitary matrix  $V$  is unique up to  $U(1)$  phase, and  $e^{i\beta}$  is unique.

変換関数が $\mathbb{Z}/2$ -gradingを保つunitary変換のみであることを証明した。

不変量の具体的な計算法(解析的な方法)：

①ゲージ変換で $\{A^i(\theta), u(\theta)\}$ を周期的にとる： $\{\tilde{A}^i(0), \tilde{u}(0)\} = \{\tilde{A}^i(2\pi), \tilde{u}(2\pi)\}$ ,

②  $\text{tr}(\tilde{u}(\theta)^2)$  は周期的なので**巻きつき数は量子化**： $n_{\text{top.}} = \int d\log(\text{tr}(\tilde{u}(\theta)^2)) \in \mathbb{Z}$

# fundamental thm. for $\mathbb{Z}/2$ -gr. CS MPS

**Theorem 3.** (fundamental theorem for fMPS with Wall invariant (+))

Let  $\{A^i\}_i$  and  $\{\tilde{A}^i\}_i$  be injective fMPSs with the Wall invariant (+) in the canonical form (111). They give the same physical state in APBC, in other words,  $\{A^i\}_i \sim \{\tilde{A}^i\}_i$  holds if and only if there exist a unitary matrix  $V \in U(2n)$  and a  $U(1)$  phase  $e^{i\beta} \in U(1)$  obeying that

$$\tilde{A}^i = e^{i\beta} V^\dagger A^i V. \quad (112)$$

The unitary matrix  $V$  is unique up to  $U(1)$  phase, and  $e^{i\beta}$  is unique.

変換関数が $\mathbb{Z}/2$ -gradingを保つunitary変換のみであることを証明した。  
不変量の具体的な計算法(解析的な方法)：

- ① ゲージ変換で  $\{A^i(\theta), u(\theta)\}$  を周期的にとる： $\{\tilde{A}^i(0), \tilde{u}(0)\} = \{\tilde{A}^i(2\pi), \tilde{u}(2\pi)\}$ ,
- ②  $\text{tr}(\tilde{u}(\theta)^2)$  は周期的なので **巻きつき数は量子化**： $n_{\text{top.}} = \int d\log(\text{tr}(\tilde{u}(\theta)^2)) \in \mathbb{Z}$
- ③  $\tilde{u}(\theta)$  は周期的な位相の付け替えで  $n_{\text{top.}}$  は **偶数だけシフト**：

# fundamental thm. for $\mathbb{Z}/2$ -gr. CS MPS

**Theorem 3.** (fundamental theorem for fMPS with Wall invariant (+))

Let  $\{A^i\}_i$  and  $\{\tilde{A}^i\}_i$  be injective fMPSs with the Wall invariant (+) in the canonical form (111). They give the same physical state in APBC, in other words,  $\{A^i\}_i \sim \{\tilde{A}^i\}_i$  holds if and only if there exist a unitary matrix  $V \in U(2n)$  and a  $U(1)$  phase  $e^{i\beta} \in U(1)$  obeying that

$$\tilde{A}^i = e^{i\beta} V^\dagger A^i V. \quad (112)$$

The unitary matrix  $V$  is unique up to  $U(1)$  phase, and  $e^{i\beta}$  is unique.

変換関数が $\mathbb{Z}/2$ -gradingを保つunitary変換のみであることを証明した。  
不変量の具体的な計算法(解析的な方法)：

- ① ゲージ変換で  $\{A^i(\theta), u(\theta)\}$  を周期的にとる： $\{\tilde{A}^i(0), \tilde{u}(0)\} = \{\tilde{A}^i(2\pi), \tilde{u}(2\pi)\}$ ,
- ②  $\text{tr}(\tilde{u}(\theta)^2)$  は周期的なので **巻きつき数は量子化**： $n_{\text{top.}} = \int d\log(\text{tr}(\tilde{u}(\theta)^2)) \in \mathbb{Z}$
- ③  $\tilde{u}(\theta)$  は周期的な位相の付け替えで  $n_{\text{top.}}$  は **偶数だけシフト**：  
例)  $\tilde{u}(\theta) \rightarrow e^{i\theta} \tilde{u}(\theta)$  に対して  $n_{\text{top.}} \mapsto n_{\text{top.}} + 2$  .

# fundamental thm. for $\mathbb{Z}/2$ -gr. CS MPS

**Theorem 3.** (fundamental theorem for fMPS with Wall invariant (+))

Let  $\{A^i\}_i$  and  $\{\tilde{A}^i\}_i$  be injective fMPSs with the Wall invariant (+) in the canonical form (111). They give the same physical state in APBC, in other words,  $\{A^i\}_i \sim \{\tilde{A}^i\}_i$  holds if and only if there exist a unitary matrix  $V \in U(2n)$  and a  $U(1)$  phase  $e^{i\beta} \in U(1)$  obeying that

$$\tilde{A}^i = e^{i\beta} V^\dagger A^i V. \quad (112)$$

The unitary matrix  $V$  is unique up to  $U(1)$  phase, and  $e^{i\beta}$  is unique.

変換関数が $\mathbb{Z}/2$ -gradingを保つunitary変換のみであることを証明した。  
不変量の具体的な計算法(解析的な方法)：

① ゲージ変換で  $\{A^i(\theta), u(\theta)\}$  を周期的にとる： $\{\tilde{A}^i(0), \tilde{u}(0)\} = \{\tilde{A}^i(2\pi), \tilde{u}(2\pi)\}$ ,

②  $\text{tr}(\tilde{u}(\theta)^2)$  は周期的なので **巻きつき数は量子化**： $n_{\text{top.}} = \int d\log(\text{tr}(\tilde{u}(\theta)^2)) \in \mathbb{Z}$

③  $\tilde{u}(\theta)$  は周期的な位相の付け替えで  $n_{\text{top.}}$  は **偶数だけシフト**：

例)  $\tilde{u}(\theta) \rightarrow e^{i\theta} \tilde{u}(\theta)$  に対して  $n_{\text{top.}} \mapsto n_{\text{top.}} + 2$  .

$$\text{Pump不変量} : n_{\text{top.}} = \int d\log(\text{tr}(\tilde{u}(\theta)^2)) \in \mathbb{Z}/2\mathbb{Z}$$



# fundamental thm. for $\mathbb{Z}/2$ -gr. CS MPS

**Theorem 3.** (fundamental theorem for fMPS with Wall invariant (+))

Let  $\{A^i\}_i$  and  $\{\tilde{A}^i\}_i$  be injective fMPSs with the Wall invariant (+) in the canonical form (111). They give the same physical state in APBC, in other words,  $\{A^i\}_i \sim \{\tilde{A}^i\}_i$  holds if and only if there exist a unitary matrix  $V \in U(2n)$  and a  $U(1)$  phase  $e^{i\beta} \in U(1)$  obeying that

$$\tilde{A}^i = e^{i\beta} V^\dagger A^i V. \quad (112)$$

The unitary matrix  $V$  is unique up to  $U(1)$  phase, and  $e^{i\beta}$  is unique.

変換関数が $\mathbb{Z}/2$ -gradingを保つunitary変換のみであることを証明した。  
不変量の具体的な計算法(解析的な方法)：

① ゲージ変換で  $\{A^i(\theta), u(\theta)\}$  を周期的にとる： $\{\tilde{A}^i(0), \tilde{u}(0)\} = \{\tilde{A}^i(2\pi), \tilde{u}(2\pi)\}$ ,

②  $\text{tr}(\tilde{u}(\theta)^2)$  は周期的なので **巻きつき数は量子化**： $n_{\text{top.}} = \int d\log(\text{tr}(\tilde{u}(\theta)^2)) \in \mathbb{Z}$

③  $\tilde{u}(\theta)$  は周期的な位相の付け替えで  $n_{\text{top.}}$  は **偶数だけシフト**：

例)  $\tilde{u}(\theta) \rightarrow e^{i\theta} \tilde{u}(\theta)$  に対して  $n_{\text{top.}} \mapsto n_{\text{top.}} + 2$  .

**Pump不変量**： $n_{\text{top.}} = \int d\log(\text{tr}(\tilde{u}(\theta)^2)) \in \mathbb{Z}/2\mathbb{Z}$

# fundamental thm. for $\mathbb{Z}/2$ -gr. CS MPS

不変量の具体的な計算法(**代数的**な方法) :

①  $X$ の**開被覆**  $\{U_\alpha\}$ を取り, 各  $U_\alpha$  上のfMPS表示  $\{A_\alpha^i, u_\alpha\}$  を取る.

②  $u_\alpha(\theta)$ の**位相を取り替えて**,  $u_\alpha(\theta)^2 = 1$  を満たすようにとる.

③  $U_\alpha$  と  $U_\beta$  の共通部分において**fundamental theorem**を用いる :

$$A_\alpha^i(\theta) = e^{i\phi_{\alpha,\beta}} V_{\alpha,\beta}(\theta) A_\beta^i(\theta) V_{\alpha,\beta}(\theta)^\dagger$$

④  $u_\alpha(\theta)^2 = u_\beta(\theta)^2 = 1$  を満たすように取った時,  $V_{\alpha,\beta}(\theta)$  は**以下を満たす** :

$$u_\alpha(\theta) V_{\alpha,\beta}(\theta) = \eta_{\alpha,\beta} V_{\alpha,\beta}(\theta) u_\beta(\theta) \quad (\eta_{\alpha,\beta} = \pm 1)$$

$$\text{Pump不変量} : \eta_{\text{top.}} = \prod \eta_{\alpha,\beta} \in \{\pm 1\} \quad ([\eta_{\alpha,\beta}] \in H^1(X; \mathbb{Z}/2\mathbb{Z}))$$

特に二つの不変量は等価で, 一般に  $\eta_{\text{top.}} = (-1)^{n_{\text{top.}}}$  という関係にある

# fundamental thm. for $\mathbb{Z}/2$ -gr. CS MPS

不変量の具体的な計算法(代数的な方法):

①  $X$  の開被覆  $\{U_\alpha\}$  を取り, 各  $U_\alpha$  上の fMPS 表示  $\{A_\alpha^i, u_\alpha\}$  を取る.

②  $u_\alpha(\theta)$  の位相を取り替えて,  $u_\alpha(\theta)^2 = 1$  を満たすようにする.

③  $U_\alpha$  と  $U_\beta$  の共通部分において fundamental theorem を用いる:

$$A_\alpha^i(\theta) = e^{i\phi_{\alpha,\beta}} V_{\alpha,\beta}(\theta) A_\beta^i(\theta) V_{\alpha,\beta}(\theta)^\dagger$$

④  $u_\alpha(\theta)^2 = u_\beta(\theta)^2 = 1$  を満たすとき,  $V_{\alpha,\beta}(\theta)$  は以下を満たす:

$$u_\alpha(\theta) V_{\alpha,\beta}(\theta) = \eta_{\alpha,\beta} V_{\alpha,\beta}(\theta) u_\beta(\theta) \quad (\eta_{\alpha,\beta} = \pm 1)$$

**Primp 不変量**:  $\eta_{\text{top.}} = \prod \eta_{\alpha,\beta} \in \{\pm 1\}$  ( $[\alpha,\beta] \in H^1(X; \mathbb{Z}/2\mathbb{Z})$ )

特に二つの不変量は等価で, 一般に  $\eta_{\text{top.}} = (-1)^{n_{\text{top.}}}$  という関係にある.

# 目次

- **研究の背景**

SRE状態とGTPについて

- **研究の目的と方法**

MPSを用いたinteracting fermionic systemにおけるGTPの検証

- **結果 1 : Pump不変量の定義**

fundamental theorem for fMPS

Pump不変量の定義

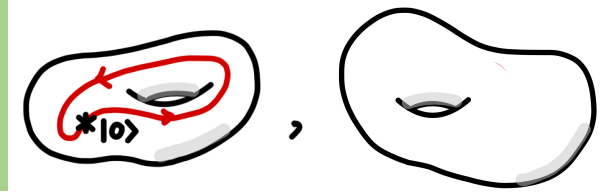
- **結果 2 : Pump不変量の計算**

non-trivial phaseにおけるpump

trivial phaseにおけるpump

- **まとめ**

# Pump不変量の計算例①

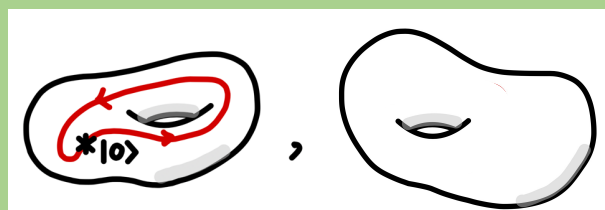


例) ガチャガチャ模型

$$H(\theta) = - \sum_j (a_j^\dagger - a_j) \tau_{j+\frac{1}{2}}^x (a_{j+1}^\dagger + a_{j+1}) - \sum_j \tau_{j-\frac{1}{2}}^{z,\theta} (1 - 2a_j^\dagger a_j) \tau_{j+\frac{1}{2}}^{z,\theta}$$

ただし  $\tau_j^{z,\theta} = e^{i\frac{\theta}{2}\tau_j^x} \tau_j^z e^{-i\frac{\theta}{2}\tau_j^x}$  . このとき  $H(0) = H(\pi)$  .

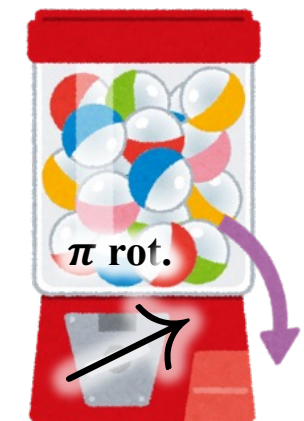
# Pump不変量の計算例①



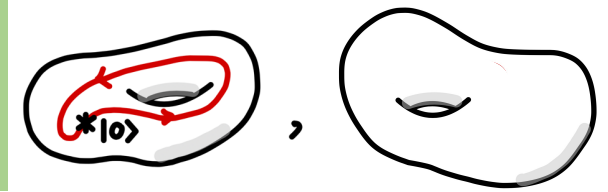
例) ガチャガチャ模型

$$H(\theta) = - \sum_j (a_j^\dagger - a_j) \tau_{j+\frac{1}{2}}^x (a_{j+1}^\dagger + a_{j+1}) - \sum_j \tau_{j-\frac{1}{2}}^{z,\theta} (1 - 2a_j^\dagger a_j) \tau_{j+\frac{1}{2}}^{z,\theta}$$

ただし  $\tau_j^{z,\theta} = e^{i\frac{\theta}{2}\tau_j^x} \tau_j^z e^{-i\frac{\theta}{2}\tau_j^x}$  . このとき  $H(0) = H(\pi)$  .



# Pump不変量の計算例①



例) ガチャガチャ模型

$$H(\theta) = - \sum_j (a_j^\dagger - a_j) \tau_{j+\frac{1}{2}}^x (a_{j+1}^\dagger + a_{j+1}) - \sum_j \tau_{j-\frac{1}{2}}^{z,\theta} (1 - 2a_j^\dagger a_j) \tau_{j+\frac{1}{2}}^{z,\theta}$$

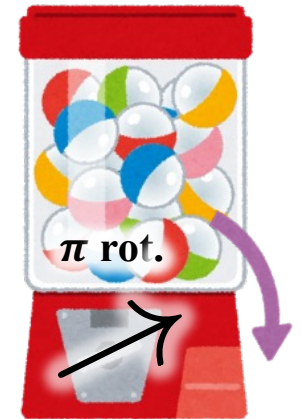
ただし  $\tau_j^{z,\theta} = e^{i\frac{\theta}{2}\tau_j^x} \tau_j^z e^{-i\frac{\theta}{2}\tau_j^x}$ . このとき  $H(0) = H(\pi)$ .

この模型は自明相に属することが確認できる.

対応する周期的なfMPSは

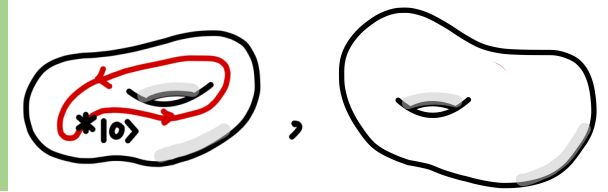
$$C^{\uparrow,\circ}(\theta) = \begin{pmatrix} \cos(\frac{\theta}{2}) & \\ & i \sin(\frac{\theta}{2}) \end{pmatrix}, C^{\downarrow,\circ}(\theta) = \begin{pmatrix} i \sin(\frac{\theta}{2}) & \\ & \cos(\frac{\theta}{2}) \end{pmatrix}, u(\theta) = \begin{pmatrix} 1 & \\ & -1 \end{pmatrix}$$

$$C^{\uparrow,\bullet}(\theta) = \begin{pmatrix} & \cos(\frac{\theta}{2}) \\ i \sin(\frac{\theta}{2}) & \end{pmatrix}, C^{\downarrow,\bullet}(\theta) = \begin{pmatrix} & i \sin(\frac{\theta}{2}) \\ \cos(\frac{\theta}{2}) & \end{pmatrix}.$$



を用いて  $\tilde{C}^{i,j}(\theta) = e^{-i\frac{\theta}{2}} e^{i\frac{\theta}{2}\sigma_x} C^{i,j}(\theta) e^{-i\frac{\theta}{2}\sigma_x}$ ,  $\tilde{u}(\theta) = e^{-i\frac{\theta}{2}} e^{i\frac{\theta}{2}\sigma_x} u(\theta) e^{-i\frac{\theta}{2}\sigma_x}$  で与えられる.

# Pump不変量の計算例①



例) ガチャガチャ模型

$$H(\theta) = - \sum_j (a_j^\dagger - a_j) \tau_{j+\frac{1}{2}}^x (a_{j+1}^\dagger + a_{j+1}) - \sum_j \tau_{j-\frac{1}{2}}^{z,\theta} (1 - 2a_j^\dagger a_j) \tau_{j+\frac{1}{2}}^{z,\theta}$$

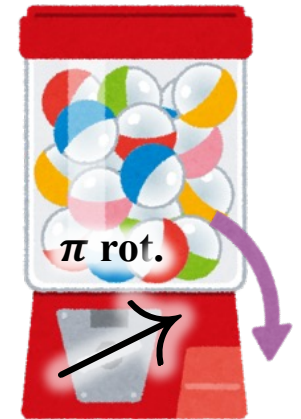
ただし  $\tau_j^{z,\theta} = e^{i\frac{\theta}{2}\tau_j^x} \tau_j^z e^{-i\frac{\theta}{2}\tau_j^x}$ . このとき  $H(0) = H(\pi)$ .

この模型は自明相に属することが確認できる.

対応する周期的なfMPSは

$$C^{\uparrow,\circ}(\theta) = \begin{pmatrix} \cos(\frac{\theta}{2}) & \\ & i \sin(\frac{\theta}{2}) \end{pmatrix}, C^{\downarrow,\circ}(\theta) = \begin{pmatrix} i \sin(\frac{\theta}{2}) & \\ & \cos(\frac{\theta}{2}) \end{pmatrix}, u(\theta) = \begin{pmatrix} 1 & \\ & -1 \end{pmatrix}$$

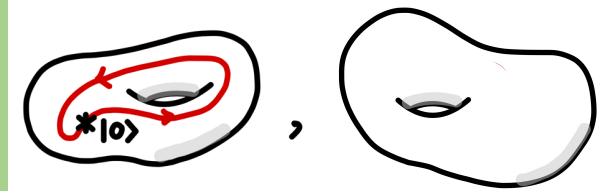
$$C^{\uparrow,\bullet}(\theta) = \begin{pmatrix} & \cos(\frac{\theta}{2}) \\ i \sin(\frac{\theta}{2}) & \end{pmatrix}, C^{\downarrow,\bullet}(\theta) = \begin{pmatrix} & i \sin(\frac{\theta}{2}) \\ \cos(\frac{\theta}{2}) & \end{pmatrix}.$$



を用いて  $\tilde{C}^{i,j}(\theta) = e^{-i\frac{\theta}{2}} e^{i\frac{\theta}{2}\sigma_x} C^{i,j}(\theta) e^{-i\frac{\theta}{2}\sigma_x}$ ,  $\tilde{u}(\theta) = e^{-i\frac{\theta}{2}} e^{i\frac{\theta}{2}\sigma_x} u(\theta) e^{-i\frac{\theta}{2}\sigma_x}$  で与えられる.  
 $\text{tr}(\tilde{u}(\theta)^2) = -2e^{i\theta}$  なので,  $n_{\text{top.}} = 1 \in \mathbb{Z}/2\mathbb{Z}$  より **pump不変量は非自明**.



# Pump不変量の計算例①



例) ガチャガチャ模型

$$H(\theta) = - \sum_j (a_j^\dagger - a_j) \tau_{j+\frac{1}{2}}^x (a_{j+1}^\dagger + a_{j+1}) - \sum_j \tau_{j-\frac{1}{2}}^{z,\theta} (1 - 2a_j^\dagger a_j) \tau_{j+\frac{1}{2}}^{z,\theta}$$

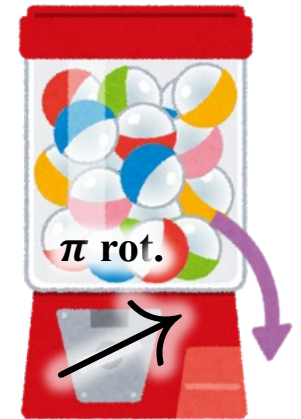
ただし  $\tau_j^{z,\theta} = e^{i\frac{\theta}{2}\tau_j^x} \tau_j^z e^{-i\frac{\theta}{2}\tau_j^x}$ . このとき  $H(0) = H(\pi)$ .

この模型は自明相に属することが確認できる.

対応する周期的なfMPSは

$$C^{\uparrow,\circ}(\theta) = \begin{pmatrix} \cos(\frac{\theta}{2}) & \\ & i \sin(\frac{\theta}{2}) \end{pmatrix}, C^{\downarrow,\circ}(\theta) = \begin{pmatrix} i \sin(\frac{\theta}{2}) & \\ & \cos(\frac{\theta}{2}) \end{pmatrix}, u(\theta) = \begin{pmatrix} 1 & \\ & -1 \end{pmatrix}$$

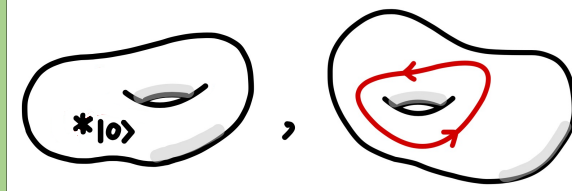
$$C^{\uparrow,\bullet}(\theta) = \begin{pmatrix} & \cos(\frac{\theta}{2}) \\ i \sin(\frac{\theta}{2}) & \end{pmatrix}, C^{\downarrow,\bullet}(\theta) = \begin{pmatrix} & i \sin(\frac{\theta}{2}) \\ \cos(\frac{\theta}{2}) & \end{pmatrix}.$$



を用いて  $\tilde{C}^{i,j}(\theta) = e^{-i\frac{\theta}{2}} e^{i\frac{\theta}{2}\sigma_x} C^{i,j}(\theta) e^{-i\frac{\theta}{2}\sigma_x}$ ,  $\tilde{u}(\theta) = e^{-i\frac{\theta}{2}} e^{i\frac{\theta}{2}\sigma_x} u(\theta) e^{-i\frac{\theta}{2}\sigma_x}$  で与えられる.  
 $\text{tr}(\tilde{u}(\theta)^2) = -2e^{i\theta}$  なので,  $n_{\text{top.}} = 1 \in \mathbb{Z}/2\mathbb{Z}$  より **pump不変量は非自明.**

interacting fermionic SPTの**自明相におけるpump**を確認した.

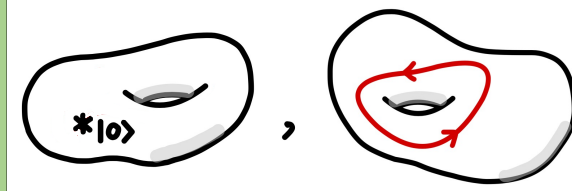
# Pump不変量の計算例②



例) 非自明相のKitaev chain with parameter  $\theta$

$$H(\theta) = \sum_j -a_{j+1}^\dagger a_{j+1} - a_{j+1}^\dagger a_j + e^{i\theta} a_j^\dagger a_{j+1}^\dagger + e^{-i\theta} a_{j+1} a_j$$

# Pump不変量の計算例②



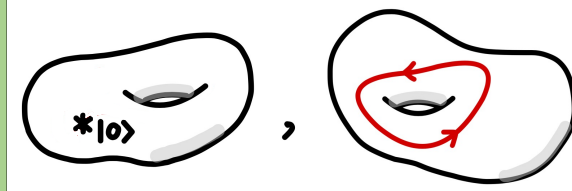
例) 非自明相のKitaev chain with parameter  $\theta$

$$H(\theta) = \sum_j -a_{j+1}^\dagger a_{j+1} - a_{j+1}^\dagger a_j + e^{i\theta} a_j^\dagger a_{j+1}^\dagger + e^{-i\theta} a_{j+1} a_j$$

$$\rightarrow A^0(\theta) = \begin{pmatrix} 1 & \\ & 1 \end{pmatrix}, \quad A^1(\theta) = e^{i\frac{\theta}{2}} \begin{pmatrix} & -1 \\ 1 & \end{pmatrix}, \quad u(\theta) = e^{i\frac{\theta}{2}} \begin{pmatrix} & -1 \\ 1 & \end{pmatrix}$$

$$\rightarrow \tilde{A}^0(\theta) = \begin{pmatrix} 1 & \\ & 1 \end{pmatrix}, \quad \tilde{A}^1(\theta) = \begin{pmatrix} & -1 \\ e^{i\theta} & \end{pmatrix}, \quad \tilde{u}(\theta) = \begin{pmatrix} & -1 \\ e^{i\theta} & \end{pmatrix}$$

# Pump不変量の計算例②



例) 非自明相の Kitaev chain with parameter  $\theta$

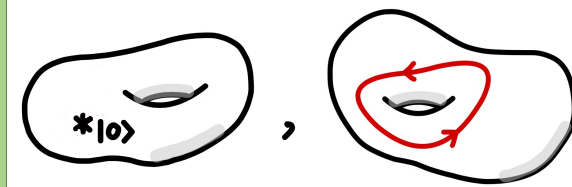
$$H(\theta) = \sum_j -a_{j+1}^\dagger a_{j+1} - a_{j+1}^\dagger a_j + e^{i\theta} a_j^\dagger a_{j+1}^\dagger + e^{-i\theta} a_{j+1} a_j$$

$$\rightarrow A^0(\theta) = \begin{pmatrix} 1 & \\ & 1 \end{pmatrix}, \quad A^1(\theta) = e^{i\frac{\theta}{2}} \begin{pmatrix} & -1 \\ 1 & \end{pmatrix}, \quad u(\theta) = e^{i\frac{\theta}{2}} \begin{pmatrix} & -1 \\ 1 & \end{pmatrix}$$

$$\rightarrow \tilde{A}^0(\theta) = \begin{pmatrix} 1 & \\ & 1 \end{pmatrix}, \quad \tilde{A}^1(\theta) = \begin{pmatrix} & -1 \\ e^{i\theta} & \end{pmatrix}, \quad \tilde{u}(\theta) = \begin{pmatrix} & -1 \\ e^{i\theta} & \end{pmatrix}$$

$\text{tr}(\tilde{u}(\theta)^2) = -2e^{i\theta}$  なので,  $n_{\text{top.}} = 1 \in \mathbb{Z}/2\mathbb{Z}$  より **pump不変量は非自明.**

# Pump不変量の計算例②



例) 非自明相のKitaev chain with parameter  $\theta$

$$H(\theta) = \sum_j -a_{j+1}^\dagger a_{j+1} - a_{j+1}^\dagger a_j + e^{i\theta} a_j^\dagger a_{j+1}^\dagger + e^{-i\theta} a_{j+1} a_j$$

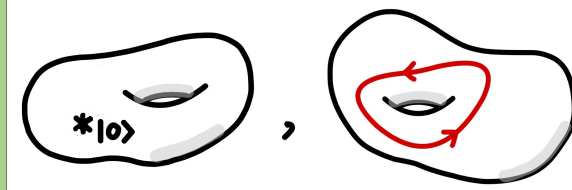
$$\rightarrow A^0(\theta) = \begin{pmatrix} 1 & \\ & 1 \end{pmatrix}, \quad A^1(\theta) = e^{i\frac{\theta}{2}} \begin{pmatrix} & -1 \\ 1 & \end{pmatrix}, \quad u(\theta) = e^{i\frac{\theta}{2}} \begin{pmatrix} & -1 \\ 1 & \end{pmatrix}$$

$$\rightarrow \tilde{A}^0(\theta) = \begin{pmatrix} 1 & \\ & 1 \end{pmatrix}, \quad \tilde{A}^1(\theta) = \begin{pmatrix} & -1 \\ e^{i\theta} & \end{pmatrix}, \quad \tilde{u}(\theta) = \begin{pmatrix} & -1 \\ e^{i\theta} & \end{pmatrix}$$

$\text{tr}(\tilde{u}(\theta)^2) = -2e^{i\theta}$  なので,  $n_{\text{top.}} = 1 \in \mathbb{Z}/2\mathbb{Z}$  より **pump不変量は非自明.**

Kitaev chainのgap関数の位相を回すことでf.p.がpumpされることは,  
**free fermionの範囲で知られている.** [Kitaev, Teo-Kane]

# Pump不変量の計算例②



例) 非自明相の Kitaev chain with parameter  $\theta$

$$H(\theta) = \sum_j -a_{j+1}^\dagger a_{j+1} - a_{j+1}^\dagger a_j + e^{i\theta} a_j^\dagger a_{j+1}^\dagger + e^{-i\theta} a_{j+1} a_j$$

$$\rightarrow A^0(\theta) = \begin{pmatrix} 1 & \\ & 1 \end{pmatrix}, \quad A^1(\theta) = e^{i\frac{\theta}{2}} \begin{pmatrix} & -1 \\ 1 & \end{pmatrix}, \quad u(\theta) = e^{i\frac{\theta}{2}} \begin{pmatrix} & -1 \\ 1 & \end{pmatrix}$$

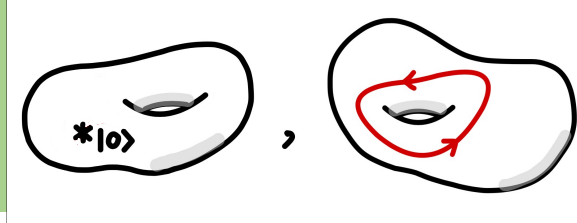
$$\rightarrow \tilde{A}^0(\theta) = \begin{pmatrix} 1 & \\ & 1 \end{pmatrix}, \quad \tilde{A}^1(\theta) = \begin{pmatrix} & -1 \\ e^{i\theta} & \end{pmatrix}, \quad \tilde{u}(\theta) = \begin{pmatrix} & -1 \\ e^{i\theta} & \end{pmatrix}$$

$\text{tr}(\tilde{u}(\theta)^2) = -2e^{i\theta}$  なので,  $n_{\text{top.}} = 1 \in \mathbb{Z}/2\mathbb{Z}$  より **pump不変量は非自明.**

Kitaev chainのgap関数の位相を回すことでf.p.がpumpされることは,  
**free fermionの範囲で知られている.** [Kitaev, Teo-Kane]

我々の結果はこのpumpが**相互作用に対して安定**であることを意味している

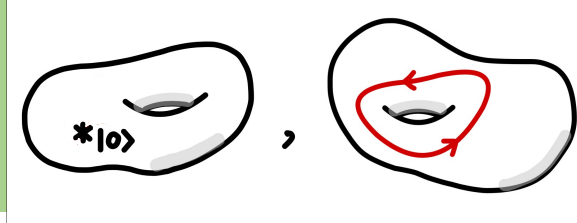
# Pump不変量の計算例③



例)非自明相のinteracting Kitaev chain with parameter  $\theta$  [Katsura et.al.]

$$\begin{aligned}
 H(\theta) = \sum_j & -ta_j^\dagger a_j - ta_{j+1} a_j^\dagger + |\Delta| e^{i\theta} a_j a_{j+1} + |\Delta| e^{-i\theta} a_{j+1}^\dagger a_j^\dagger \\
 & -\frac{\mu}{2}(2a_j^\dagger a_j - 1) + U(2a_j^\dagger a_j - 1)(2a_{j+1}^\dagger a_{j+1} - 1)
 \end{aligned}$$

# Pump不変量の計算例③



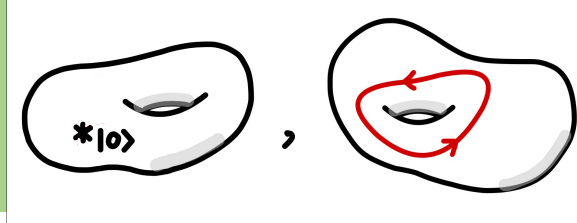
例)非自明相のinteracting Kitaev chain with parameter  $\theta$  [Katsura et.al.]

$$H(\theta) = \sum_j -ta_j^\dagger a_j - ta_{j+1} a_j^\dagger + |\Delta| e^{i\theta} a_j a_{j+1} + |\Delta| e^{-i\theta} a_{j+1}^\dagger a_j^\dagger - \frac{\mu}{2} (2a_j^\dagger a_j - 1) + U(2a_j^\dagger a_j - 1)(2a_{j+1}^\dagger a_{j+1} - 1)$$

特に  $\mu = 4\sqrt{U^2 + tU + \frac{t^2 - |\Delta|}{4}}$  のところではG.S.が求まる.



# Pump不変量の計算例③



例)非自明相のinteracting Kitaev chain with parameter  $\theta$  [Katsura et.al.]

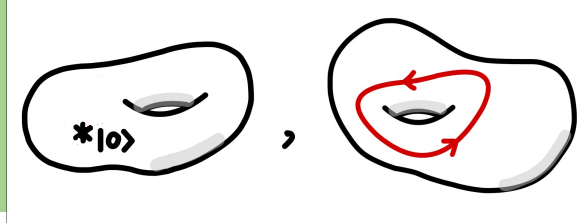
$$H(\theta) = \sum_j -ta_j^\dagger a_j - ta_{j+1} a_j^\dagger + |\Delta| e^{i\theta} a_j a_{j+1} + |\Delta| e^{-i\theta} a_{j+1}^\dagger a_j^\dagger - \frac{\mu}{2} (2a_j^\dagger a_j - 1) + U(2a_j^\dagger a_j - 1)(2a_{j+1}^\dagger a_{j+1} - 1)$$

特に  $\mu = 4\sqrt{U^2 + tU + \frac{t^2 - |\Delta|}{4}}$  のところではG.S.が求まる.

このとき周期的なfMPSは以下で与えられる：

$$\tilde{A}^0(\theta) = \begin{pmatrix} 1 & \\ & 1 \end{pmatrix}, \tilde{A}^1(\theta) = \lambda(|\Delta|, \mu) \begin{pmatrix} & -1 \\ e^{i\theta} & \end{pmatrix}, \tilde{u}(\theta) = \begin{pmatrix} & -1 \\ e^{i\theta} & \end{pmatrix}$$

# Pump不変量の計算例③



例)非自明相のinteracting Kitaev chain with parameter  $\theta$  [Katsura et.al.]

$$H(\theta) = \sum_j -ta_j^\dagger a_j - ta_{j+1} a_j^\dagger + |\Delta| e^{i\theta} a_j a_{j+1} + |\Delta| e^{-i\theta} a_{j+1}^\dagger a_j^\dagger - \frac{\mu}{2} (2a_j^\dagger a_j - 1) + U(2a_j^\dagger a_j - 1)(2a_{j+1}^\dagger a_{j+1} - 1)$$

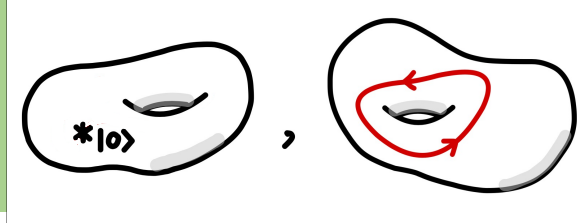
特に  $\mu = 4\sqrt{U^2 + tU + \frac{t^2 - |\Delta|}{4}}$  のところではG.S.が求まる.

このとき周期的なfMPSは以下で与えられる：

$$\tilde{A}^0(\theta) = \begin{pmatrix} 1 & \\ & 1 \end{pmatrix}, \tilde{A}^1(\theta) = \lambda(|\Delta|, \mu) \begin{pmatrix} & -1 \\ e^{i\theta} & \end{pmatrix}, \tilde{u}(\theta) = \begin{pmatrix} & -1 \\ e^{i\theta} & \end{pmatrix}$$

従ってfreeの場合と同様に,  $n_{\text{top.}} = 1 \in \mathbb{Z}/2\mathbb{Z}$ より **pump不変量は非自明.**

# Pump不変量の計算例③



例)非自明相のinteracting Kitaev chain with parameter  $\theta$  [Katsura et.al.]

$$H(\theta) = \sum_j -ta_j^\dagger a_j - ta_{j+1} a_j^\dagger + |\Delta| e^{i\theta} a_j a_{j+1} + |\Delta| e^{-i\theta} a_{j+1}^\dagger a_j^\dagger - \frac{\mu}{2} (2a_j^\dagger a_j - 1) + U(2a_j^\dagger a_j - 1)(2a_{j+1}^\dagger a_{j+1} - 1)$$

特に  $\mu = 4\sqrt{U^2 + tU + \frac{t^2 - |\Delta|}{4}}$  のところではG.S.が求まる.

このとき周期的なfMPSは以下で与えられる：

$$\tilde{A}^0(\theta) = \begin{pmatrix} 1 & \\ & 1 \end{pmatrix}, \tilde{A}^1(\theta) = \lambda(|\Delta|, \mu) \begin{pmatrix} & -1 \\ e^{i\theta} & \end{pmatrix}, \tilde{u}(\theta) = \begin{pmatrix} & -1 \\ e^{i\theta} & \end{pmatrix}$$

従ってfreeの場合と同様に,  $n_{\text{top.}} = 1 \in \mathbb{Z}/2\mathbb{Z}$ より **pump不変量は非自明.**

interacting fermionic SPTの**非自明相におけるpump**を確認した.

# Appendix

# 1-parameter family と pump

# periodic Kitaev chain

- periodic Kitaev chain(時空1+1次元の超伝導の模型)

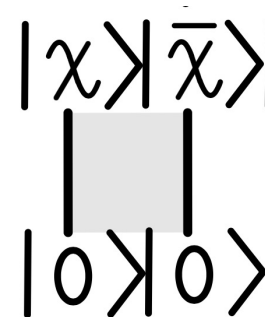
$$H = \sum_j \underbrace{-a_{j+1}^\dagger a_{j+1} - a_{j+1}^\dagger a_j}_{\text{hopping}} + \underbrace{a_j^\dagger a_{j+1}^\dagger + a_{j+1} a_j}_{\text{gap 関数}} \quad (a_j : \text{complex fermion})$$

$H$  は **gapped** かつ **unique** な基底状態を持つ。

- 任意の **d次元の閉多様体** の上で **gapped** かつ **unique** な基底状態として得られる状態を時空  $d+1$  次元 **Short-Range Entangled (SRE)** 状態と呼ぶ。

SRE状態はtensor積に対する逆元が存在する：

$$|\chi\rangle \otimes |\bar{\chi}\rangle \sim |0\rangle \otimes |0\rangle$$



ここで“ $\sim$ ”はgapを保った連続変形。

# 自明相におけるGTP : Kitaevの予想

$d+1$ 次元の自明相におけるGTPを構成する:

# 自明相におけるGTP：Kitaevの予想

d+1次元の自明相におけるGTPを構成する：

d次元自明状態

$$|0\rangle_d$$



# 自明相におけるGTP : Kitaevの予想

d+1次元の自明相におけるGTPを構成する:

$$\underbrace{|0\rangle_d |0\rangle_d |0\rangle_d |0\rangle_d \cdots |0\rangle_d |0\rangle_d |0\rangle_d |0\rangle_d}_{d+1\text{次元目方向}} = |0\rangle_{d+1}$$

# 自明相におけるGTP : Kitaevの予想

d+1次元の自明相におけるGTPを構成する:

$$\underbrace{|0\rangle_d |0\rangle_d |0\rangle_d |0\rangle_d \cdots |0\rangle_d |0\rangle_d |0\rangle_d |0\rangle_d}_{\text{d+1次元目方向}} = |0\rangle_{d+1}$$

自明相  $\mathcal{M}^{d+1}$

# 自明相におけるGTP : Kitaevの予想

d+1次元の自明相におけるGTPを構成する:

d次元SRE状態

$$|\chi\rangle_d$$

自明相  $\mathcal{M}^{d+1}$

$$|0\rangle_d |0\rangle_d |0\rangle_d |0\rangle_d \cdots |0\rangle_d |0\rangle_d |0\rangle_d |0\rangle_d = |0\rangle_{d+1}$$

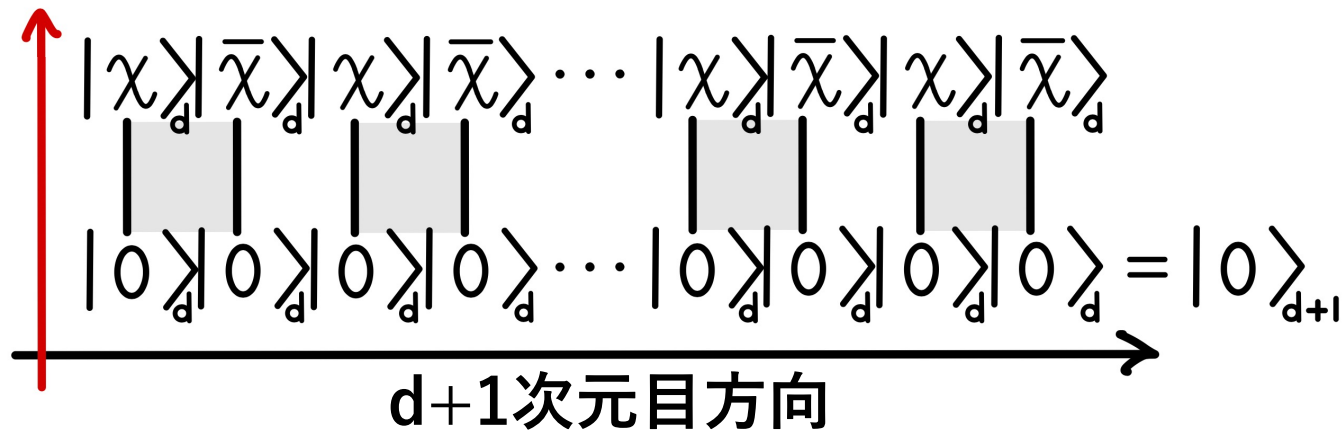
d+1次元目方向  $\longrightarrow$

# 自明相におけるGTP : Kitaevの予想

d+1次元の自明相におけるGTPを構成する:

d次元SRE状態

$$|\chi\rangle_d$$

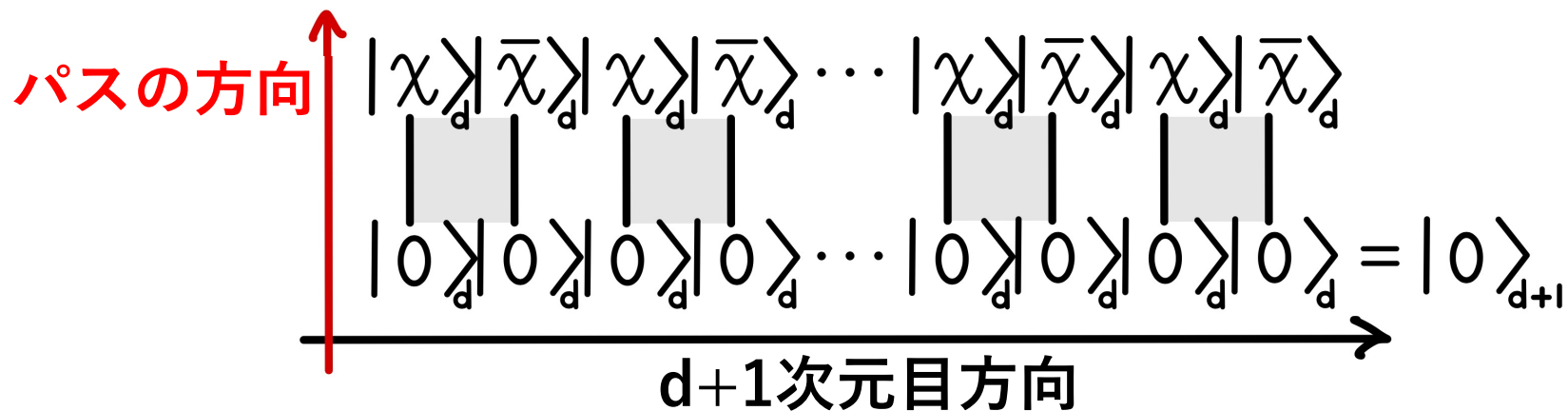


# 自明相におけるGTP : Kitaevの予想

d+1次元の自明相におけるGTPを構成する:

d次元SRE状態

$$|\chi\rangle_d$$



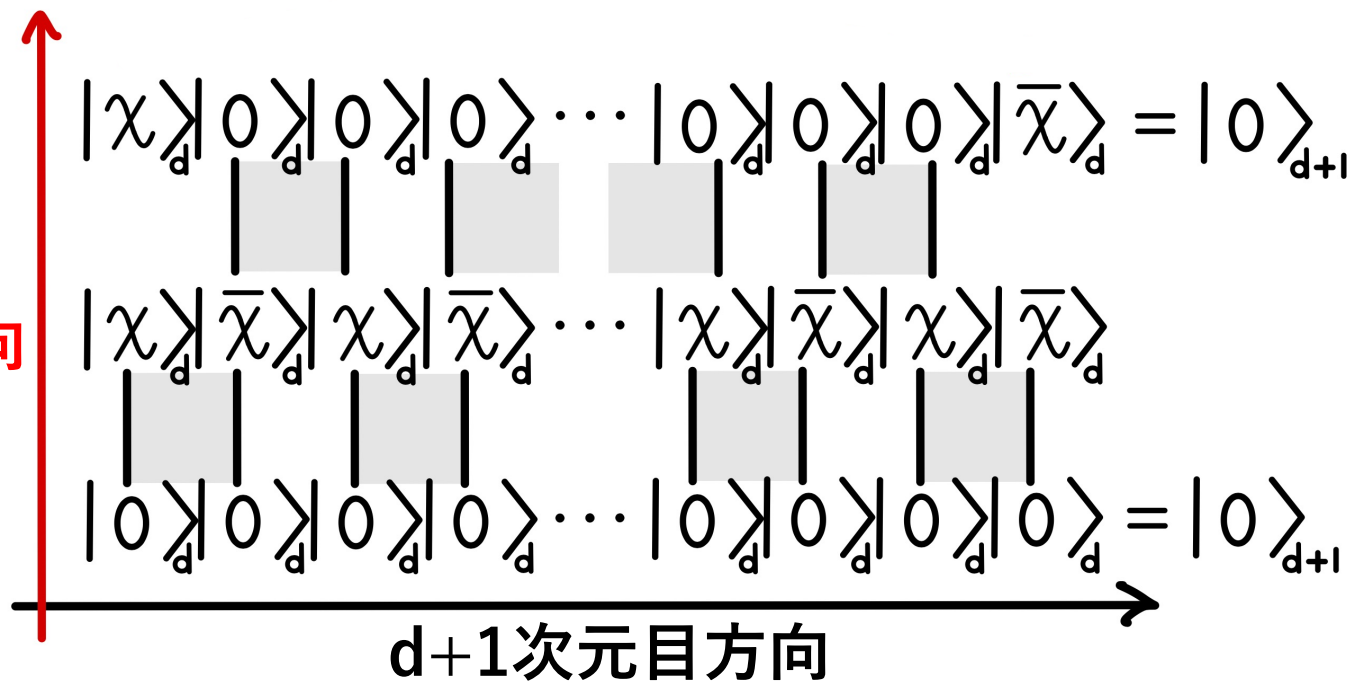
# 自明相におけるGTP : Kitaevの予想

d+1次元の自明相におけるGTPを構成する:

d次元SRE状態

$$|\chi\rangle_d$$

パスの方向



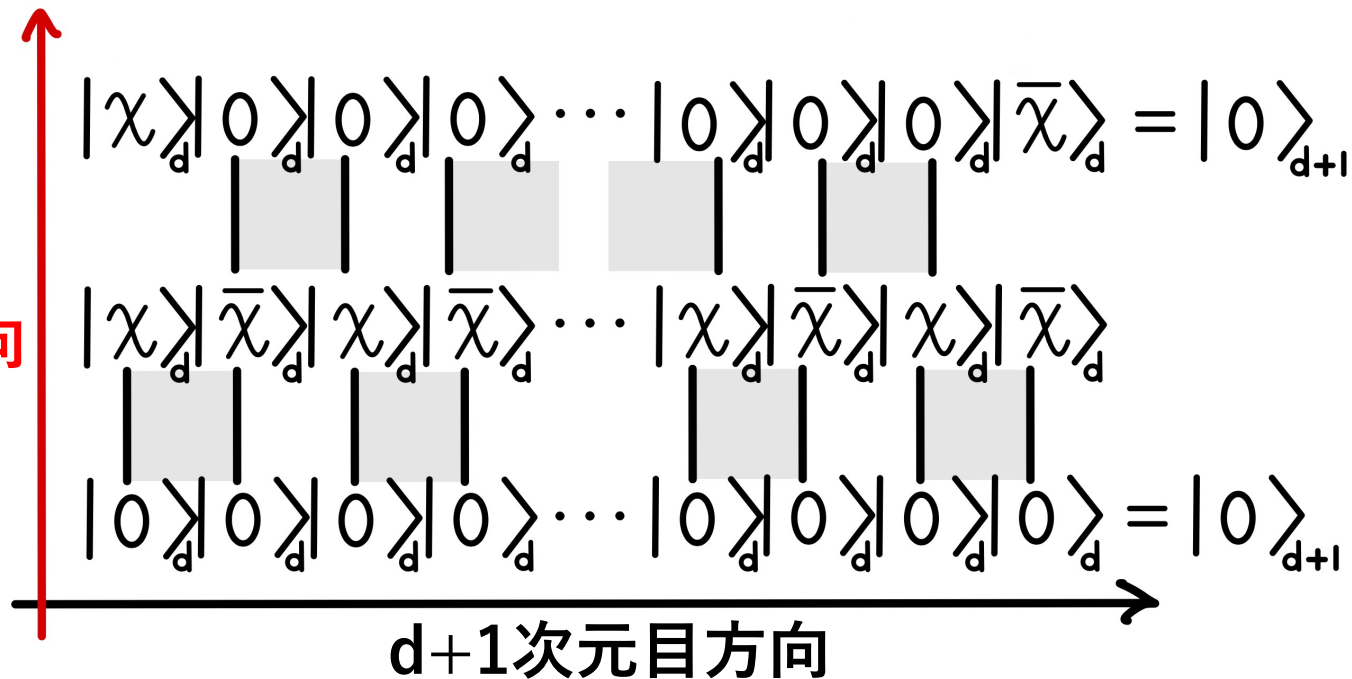
# 自明相におけるGTP : Kitaevの予想

d+1次元の自明相におけるGTPを構成する:

d次元SRE状態

$$|\chi\rangle_d$$

ループ方向



# 自明相におけるGTP : Kitaevの予想

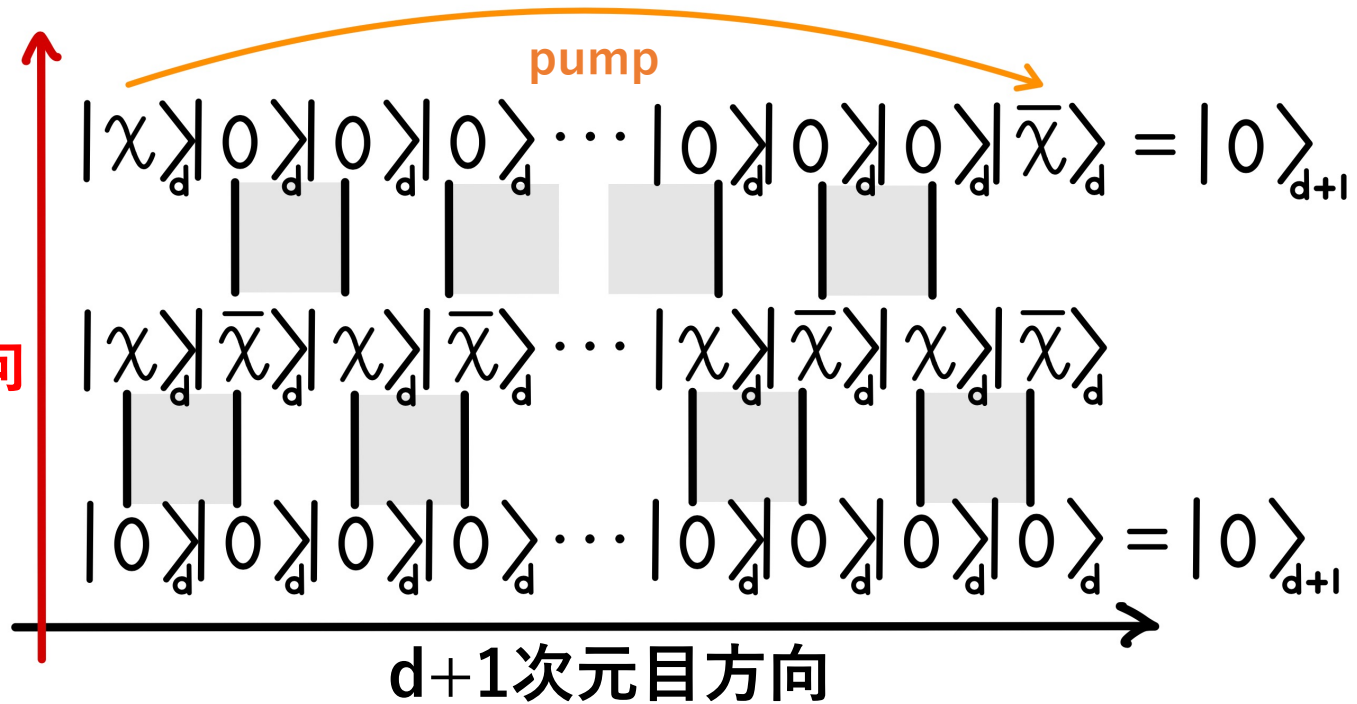
d+1次元の自明相におけるGTPを構成する:

d次元SRE状態

d+1次元GTP

$$|\chi\rangle_d$$

ループ方向





# 自明相におけるGTP : Kitaevの予想

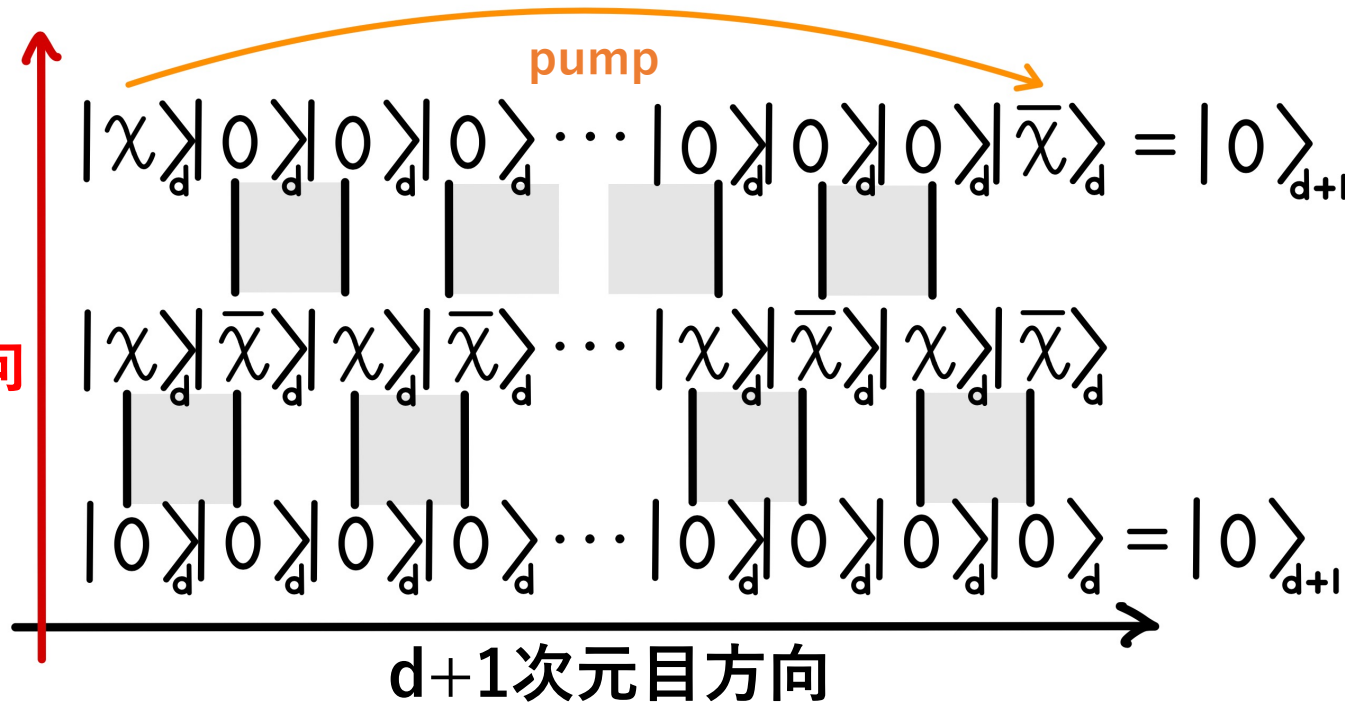
d+1次元の自明相におけるGTPを構成する:

d次元SRE状態

d+1次元GTP

$$|\chi\rangle_d$$

ループ方向



要点①  $\mathcal{M}^{d+1}$  のループは **d+1次元のGTP** を与える.

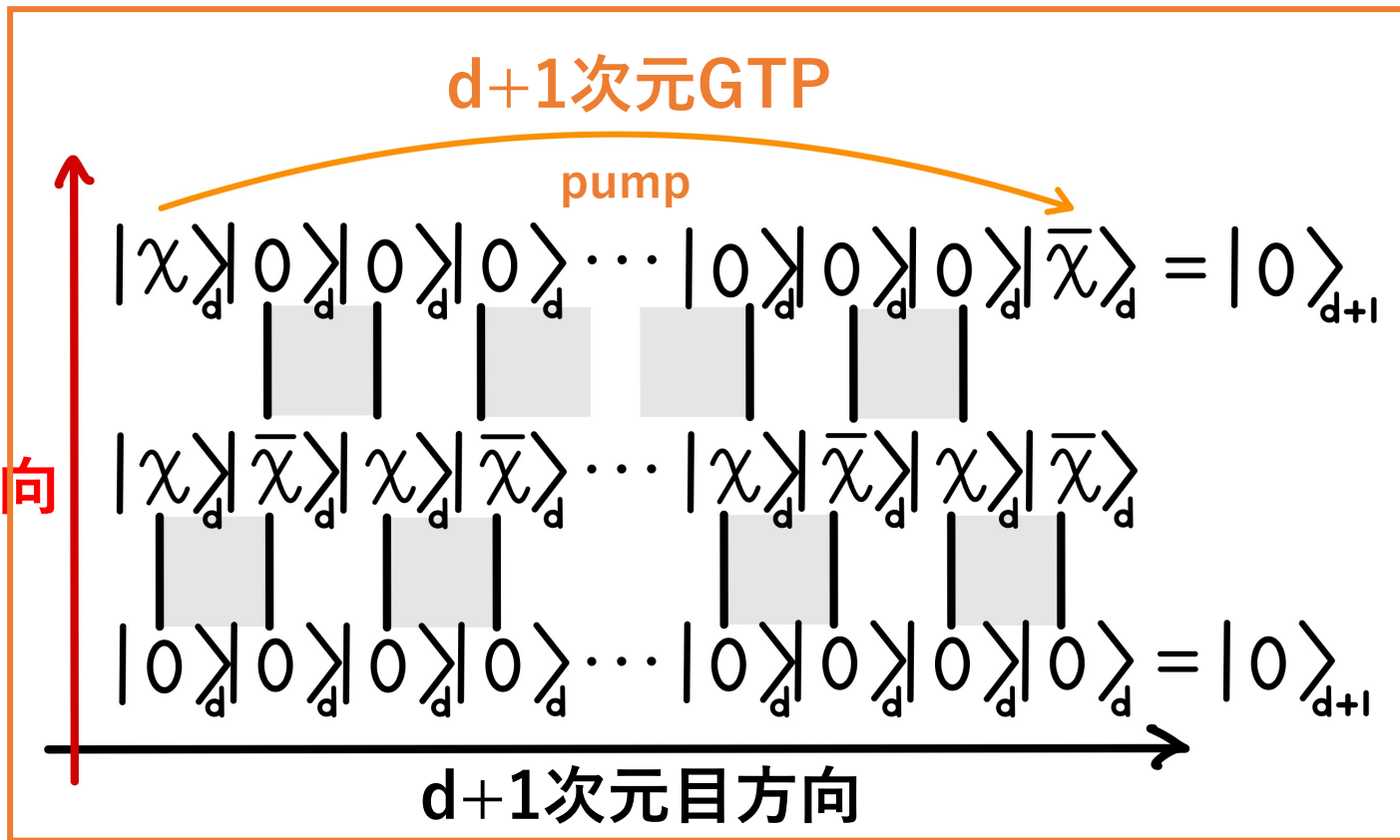
# 自明相におけるGTP : Kitaevの予想

d+1次元の自明相におけるGTPを構成する:

d次元SRE状態

$$|\chi\rangle_d \mapsto$$

ループ方向



要点①  $\mathcal{M}^{d+1}$  のループはd+1次元のGTPを与える.

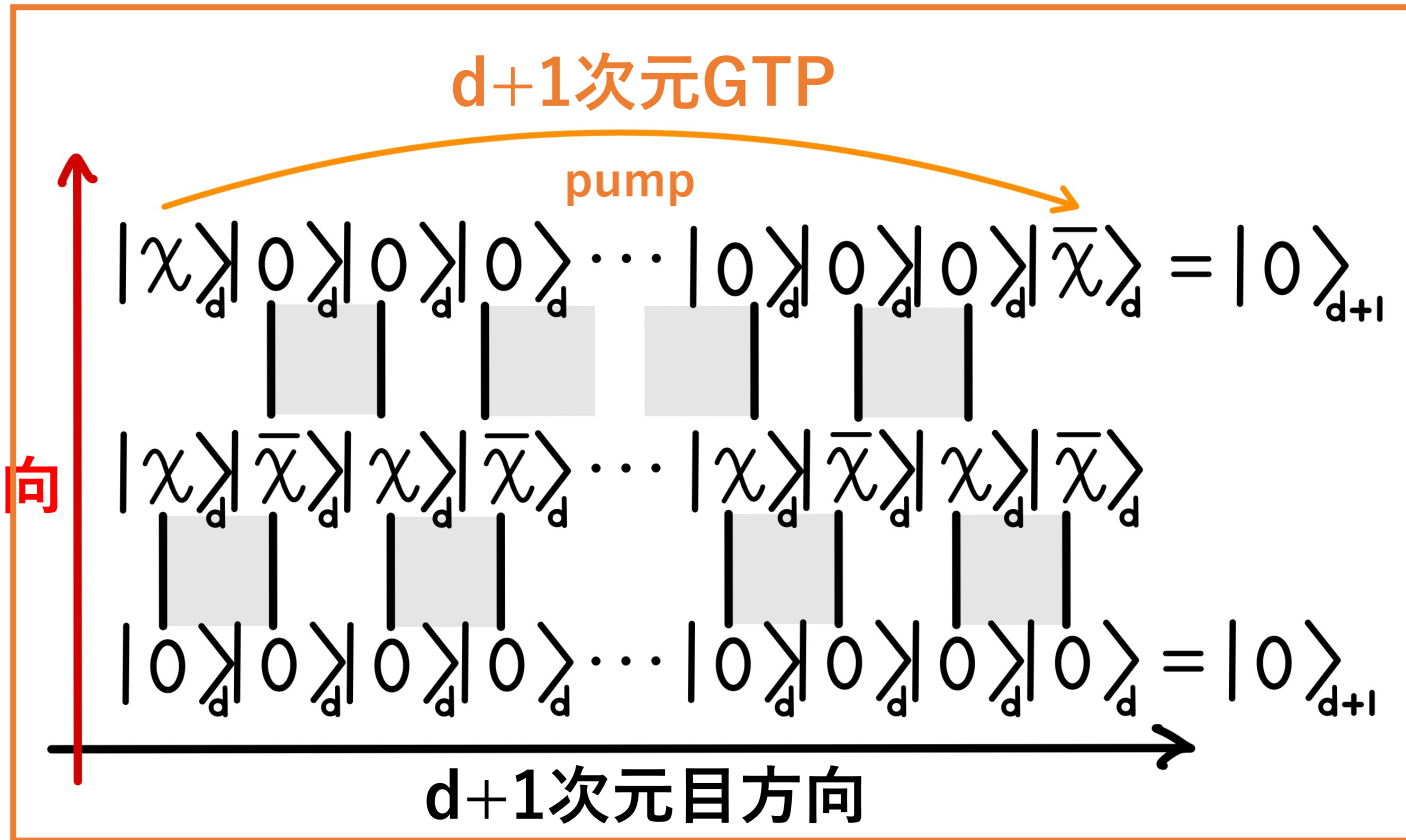
# 自明相におけるGTP : Kitaevの予想

d+1次元の自明相におけるGTPを構成する:

d次元SRE状態

$$|\chi\rangle_d \mapsto$$

ループ方向



要点①  $\mathcal{M}^{d+1}$  のループはd+1次元のGTPを与える.

要点② d+1次元のGTPはd次元のSRE状態で分類される。(Kitaevの予想)

bosonic MPS with sym. G

# bosonic SRE with symmetry G

$\mathcal{H}$  に対する  $G$  の表現を固定する :

$$\hat{U} \curvearrowright \mathcal{H} \quad : \text{unitaryかつlinear s.t. } \hat{U}(g) = \bigotimes_j \hat{u}(g)$$

injective MPS に対する  $G$  の作用は以下の通り :

$$\begin{aligned} \hat{U}(g) |\{A^i\}\rangle &= \sum \text{tr}(A^{i_1} \cdots A^{i_L}) |i_1^g, \dots, i_L^g\rangle & |i^g\rangle &:= \hat{u}(g) |i\rangle \\ \hat{u}(g) |i\rangle &= \sum |j\rangle [u(g)]_{j,i} & (g \cdot A)^j &= \sum [u(g)]_{j,i} A^i \\ &= \sum \text{tr}((g \cdot A)^{i_1} \cdots (g \cdot A)^{i_L}) |i_1, \dots, i_L\rangle & &= |\{(g \cdot A)^i\}\rangle \end{aligned}$$

従って  $G$  対称性を持つ injective MPS は以下の条件を満たす :

$$|\{A^i\}\rangle \propto |\{(g \cdot A)^i\}\rangle \Leftrightarrow e^{i\phi(g)} \in U(1), U(g) \in U(n) \text{ s.t. } (g \cdot A)^i = e^{i\phi(g)} U(g) A^i U(g)^\dagger.$$

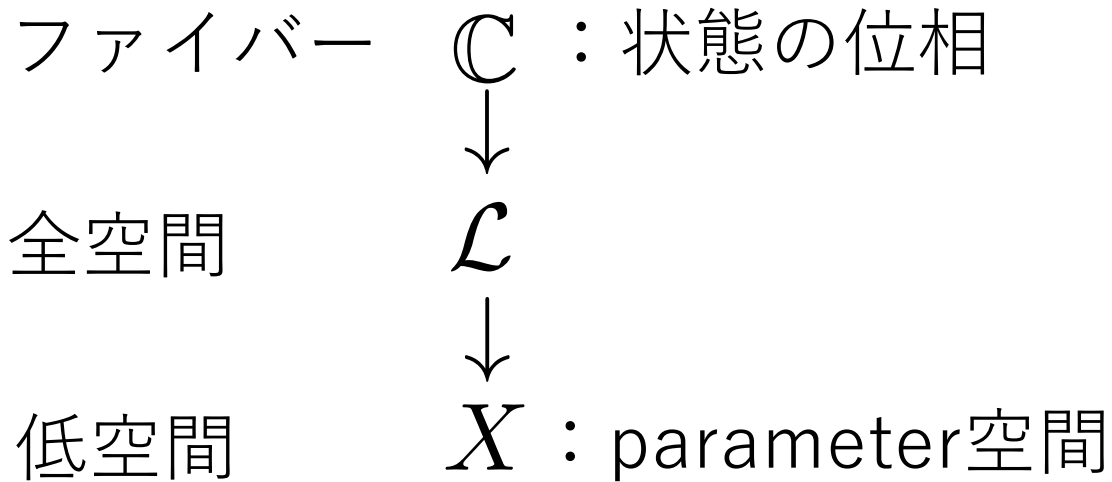
$e^{i\phi(g)}$  は一意,  $U(g)$  は up to  $U(1)$  phase で一意で,  $U(g)$  は  $G$  の射影表現.

$\{(\{A^i\}, e^{i\phi(\bullet)}, U(\bullet)) \mid \text{s.t. 上の条件を満たす}\}$  を  $G$ -sym. inj. matrices と呼ぶ

# 不変量の構成のアイデア

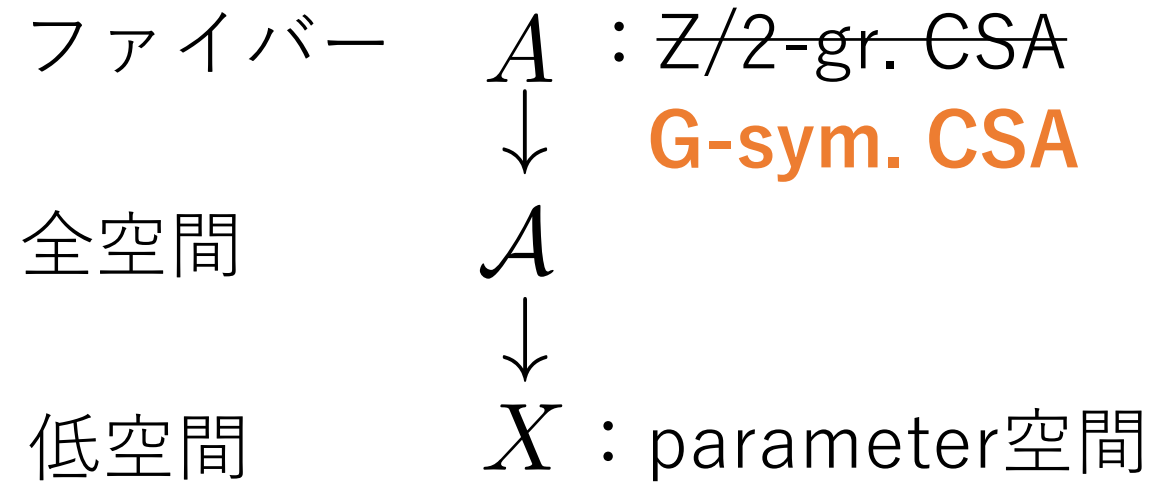
$\{A^i(\theta), u(\theta)\}_{\theta \in [0, 2\pi]}$  に対して不変量を構成したい。

0+1次元系におけるBerry位相：



Berry接続/曲率 =  $\mathcal{L}$  のtopology

1+1次元系におけるPump不変量：



Pump不変量 =  $\mathcal{A}$  のtopology

$\mathcal{A}$  の変換関数は何か？  $\Leftrightarrow |\{A^i, u\}\rangle \propto |\{A'^i, u'\}\rangle$  の時  $\{A^i\}$  と  $\{A'^i\}$  の関係は？

$$|(\{A^i\}, e^{i\phi(\bullet)}, U(\bullet))\rangle \propto |(\{A'^i\}, e^{i\phi'(\bullet)}, U'(\bullet))\rangle$$

# G-sym. iij. MPS の変換関数.

$$|\{A^i\}, e^{i\varphi(\cdot)}, [U(\cdot)]\rangle \propto |\{A^i\}, e^{i\varphi(\cdot)}, U(\cdot)\rangle$$

$$\Leftrightarrow \exists! e^{i\beta} \in U(1), \exists V \in U(n) : \text{unique up to } U(1) \text{ phase}$$

$$\text{s.t. } A^i = e^{i\beta} V A^i V^\dagger \quad \dots \textcircled{\star}$$

$$\textcircled{\star} \quad \forall g \in G \quad e^{i\varphi(g)} \cdot U(g) \cdot A^i \cdot U(g)^\dagger = e^{i\beta} V U(g) A^i U(g)^\dagger V^\dagger$$

$$\Leftrightarrow A^i = \underbrace{e^{i(\beta - i\varphi(g) + i\varphi(g))}}_{= e^{i\beta} (\because \text{uniqueness})} \cdot \underbrace{U(g) V U(g)^\dagger}_{= \eta(g) \cdot V (\because \text{uniqueness})} \cdot A^i \cdot (U(g) V U(g)^\dagger)^\dagger$$

$$\text{特} \quad U(g) V U(g)^\dagger = \eta(g) V \Leftrightarrow e^{i\omega(g,h)} U(g) U(h) V e^{-i\omega(g,h)} (U(g) U(h))^\dagger = \eta(g,h) V$$

$$\Leftrightarrow e^{i\omega(g,h)} = e^{i\omega(g,h)} \cdot e^{i\delta\omega(g,h)} \Rightarrow [e^{i\omega}] = [e^{i\omega'}]$$

$$\dagger \rightarrow \mathbb{Z} \quad U, U' \text{ の phase } \mathbb{Z} \quad e^{i\omega} = e^{i\omega'} \Leftrightarrow \exists \delta \in \mathbb{Z} \text{ s.t. } \eta(g) \in \mathbb{Z}'(G; U(1))$$

# G-sym. inj. MPS a pump inv.

(1)  $X$  a open covering  $\{U_\alpha\} \subseteq \mathcal{E}$ .

(2)  $e^{i\omega_{\text{ref}}} \in \mathbb{Z}^2(G; U(1)) \subseteq \text{fix } \mathcal{E}$ .

(3)  $(\{A_\alpha^i\}, e_\alpha^{i\beta}, [U_\alpha])$  on  $U_\alpha \cap U_\beta \neq \emptyset$ .

$U_\alpha$  a phase  $\mathcal{E}$ .  $U_\alpha(g)U_\alpha(h) = e^{i\omega_{\text{ref}}} U_\alpha(gh)$

とある  $\mathcal{E} \rightarrow \mathcal{E}$ .

(4) fundamental twists,  $\eta_{\alpha\beta} \in \mathbb{Z}^1(G; U(1))$   
 の  $\mathcal{E} \rightarrow \mathcal{E}$ .

$$[\eta] := \pi[\eta_{\alpha\beta}] \in H^1(G; U(1))$$

